

PR TIMES

2024年度 通期決算説明資料

株式会社PR TIMES（東証プライム | 3922）

2025年4月11日

2024年度業績

- 創業以来18期連続で増収と黒字を達成し、売上高は18期連続、営業利益は3期ぶりに過去最高を更新。
- 売上高は前期比17.1%増、営業利益は前期比7.5%増となり、いずれも過去最高を更新。先行投資に加えて、新株予約権に係る株式報酬費用という計画外費用も吸収し、業績予想のレンジ内で着地。
- 子会社NAVICUSに係るのれん及び投資有価証券を減損処理して、当期純利益は前期比3.7%減となった。

2025年度業績予想

- 売上高は92億5百万円（前期比15.0%増）、営業利益は31億49百万円（前期比67.7%増）を計画し、2024年度第3四半期の決算発表時点で示した「営業利益30億円以上」の見通しを上方修正した。
- 営業利益35億円以上を目指す場合は、追加の新株予約権に係る株式報酬費用をさらに吸収する必要がある。しかし、投資と利益のバランスを見極めたうえで、現時点では業績予想を決定した。

2025年度事業方針

- PR TIMESはプレスリリース件数の10%超成長を堅持する。周辺領域ではPRパートナーサービスとWebクリッピングを再起動し、大企業顧客向けにおける1社あたりの売上高を伸ばしていく。
- JootoとTayoriはともに売上高を1.6倍に伸ばし、営業利益は黒字に転換。
- グルコースはグループ外への売上拡大を目指し、NAVICUSは5期ぶりの黒字回復を確実に実現する。

Road to Milestone2025, towards 2030

- Milestone 2025で掲げた営業利益35億円の達成を決して諦めることなく、グループ全体で邁進する。ただし、2025年度は通過点であり、最終ゴールではない。
- 「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」というミッションの実現に向けて、2030年度にはさらに野心的な目標を設定し、持続的な成長と収益拡大を図っていく。

1

2024年度通期 決算・サービス動向

2

2024年度第4四半期 四半期決算

3

2024年度第4四半期 サービス動向

4

トピックス & 参考情報

5

2025年度 業績予想

6

Road to Milestone2025, towards 2030

PR TIMES

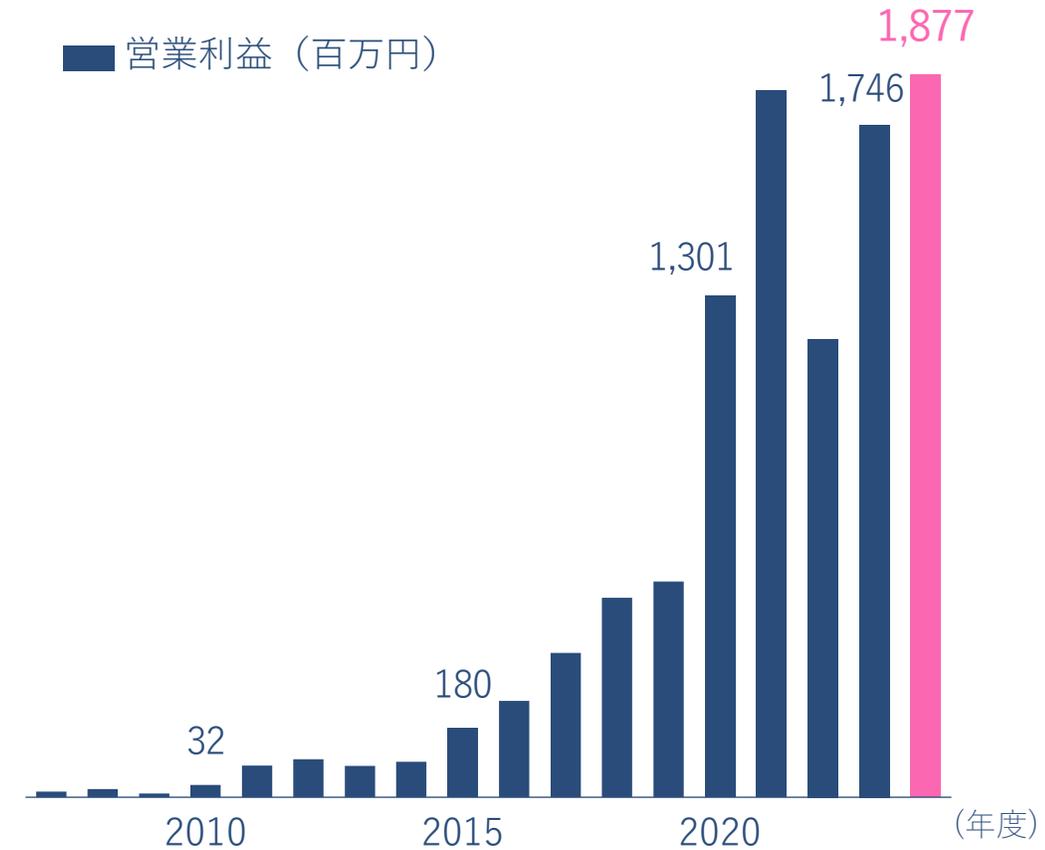
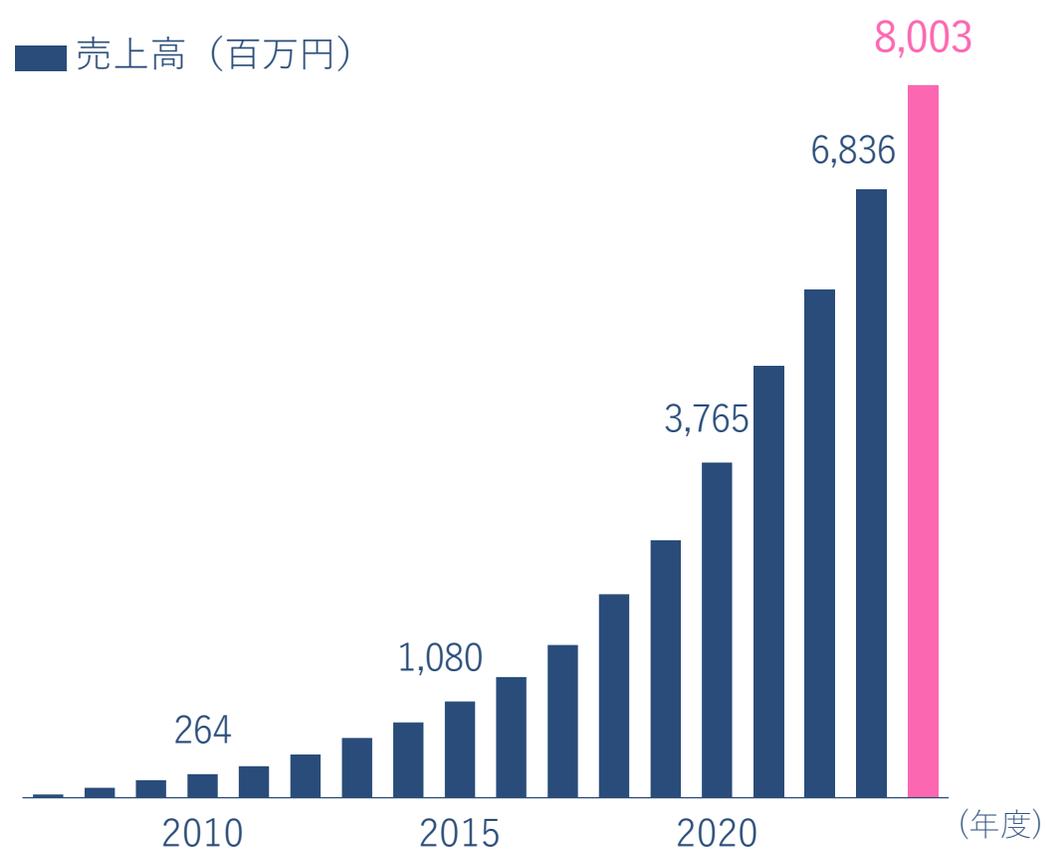


- 売上高は前期比17.1%増、営業利益は前期比7.5%増となり、いずれも過去最高を更新。広告宣伝費やR&Dへの先行投資に加えて、新株予約権に係る株式報酬費用72百万円という計画外費用も吸収し、業績予想のレンジ内で着地。
- 子会社NAVICUSに係るのれん99百万円及び投資有価証券1億1千万円を減損処理して、当期純利益は前期比3.7%減となった。

(単位：百万円)	2023年度 通期実績	2024年度 通期実績	前年同期比 (YonY)	2024年度 通期予想	対通期予想 達成率	通期予想 レンジ
売上高	6,836	8,003	117.1%	8,189	97.7%	± 5.0%
売上総利益	5,894	6,721	114.0%	—	—	—
(粗利率)	(86.2%)	(84.0%)	—	—	—	—
販売管理費	4,147	4,844	116.8%	—	—	—
営業利益	1,746	1,877	107.5%	1,900	98.8%	± 15.0%
(営業利益率)	(25.5%)	(23.5%)	—	(23.2%)	—	—
EBITDA	1,925	2,174	112.9%	—	—	—
当期純利益	1,161	1,118	96.3%	1,276	87.7%	± 15.0%

注： EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用

- 創業以来18期連続で増収・黒字を達成し、安定した成長基調を維持。
- 売上高は18期連続、営業利益は3期ぶりに過去最高を更新。今後もさらなる成長を追求していく。

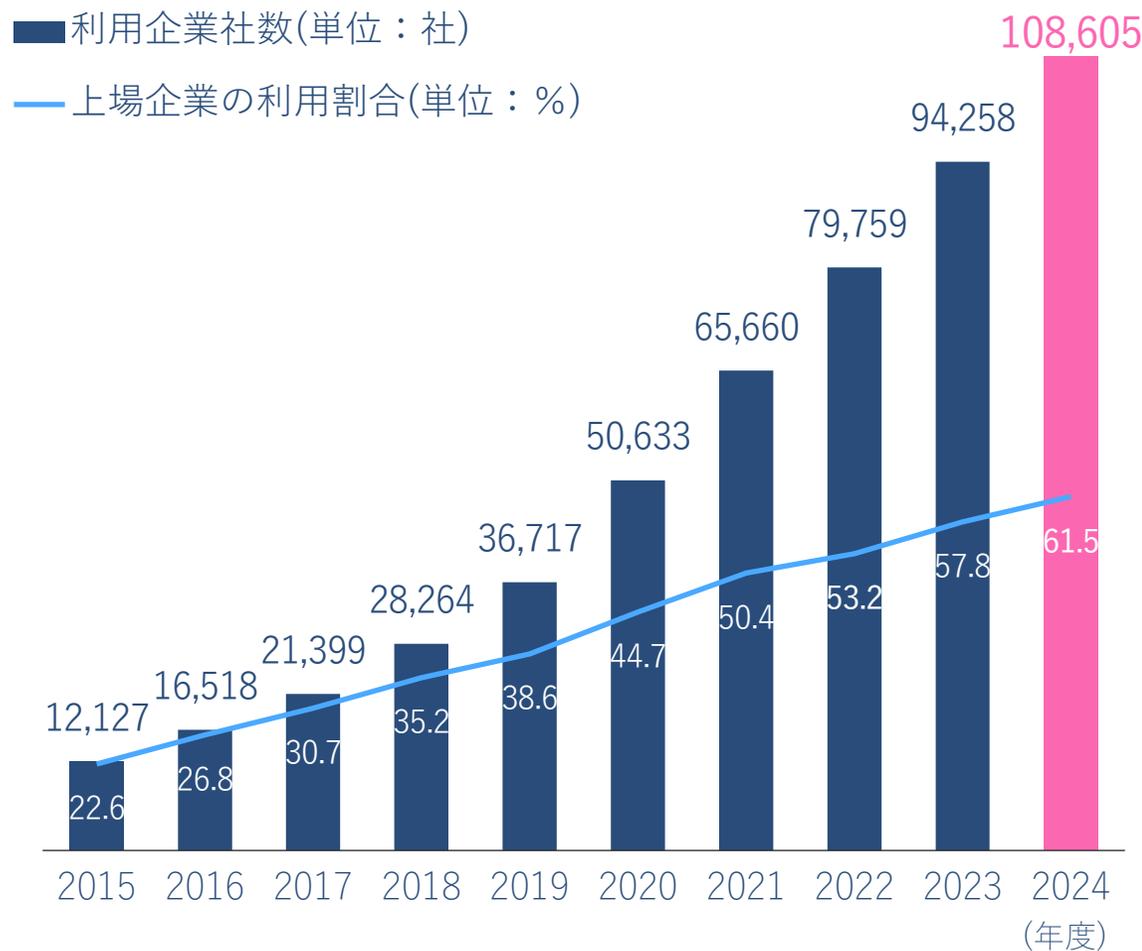


- 営業キャッシュフローの増加により現預金が着実に積み上がり、50億円を突破。
- 子会社NAVICUSに係るのれん及び投資有価証券を減損処理して、のれん及び固定資産が大幅に減少。

(単位：百万円)	2024年2月末	2025年2月末	前年同期比
流動資産	5,400	6,595	122.1%
内、現預金	4,536	5,605	123.6%
固定資産	1,671	1,645	98.5%
内、のれん	252	95	37.9%
総資産	7,071	8,241	116.5%
流動負債	1,405	1,335	95.0%
内、契約負債	209	264	125.9%
固定負債	2	1	57.3%
純資産	5,662	6,904	121.9%
ROA(*1)	18.8%	14.6%	
ROE	22.9%	17.9%	

(*1) : ROA及びROEは、直近12ヶ月の数値を用いて算出

- 2025年2月末時点で利用企業社数が108,605社に到達、上場企業のうち61.5%（2,495社／4,059社）が利用。
- 2024年に日本国内に上場した企業85社の内、70.6%の60社がPR TIMESを利用、東証グロース市場のIPOに限ると74.6%が2024年にPR TIMESを利用。



取引所	市場	2024年		
		新規上場	内、利用企業	利用割合
東京証券取引所	プライム	4社	3社	75.0%
	スタンダード	13社	10社	76.9%
	グロース	63社	47社	74.6%
	合計	80社	60社	75.0%
札幌証券取引所		1社	0社	0.0%
名古屋証券取引所		2社	0社	0.0%
福岡証券取引所		2社	0社	0.0%
合計		85社	60社	70.6%

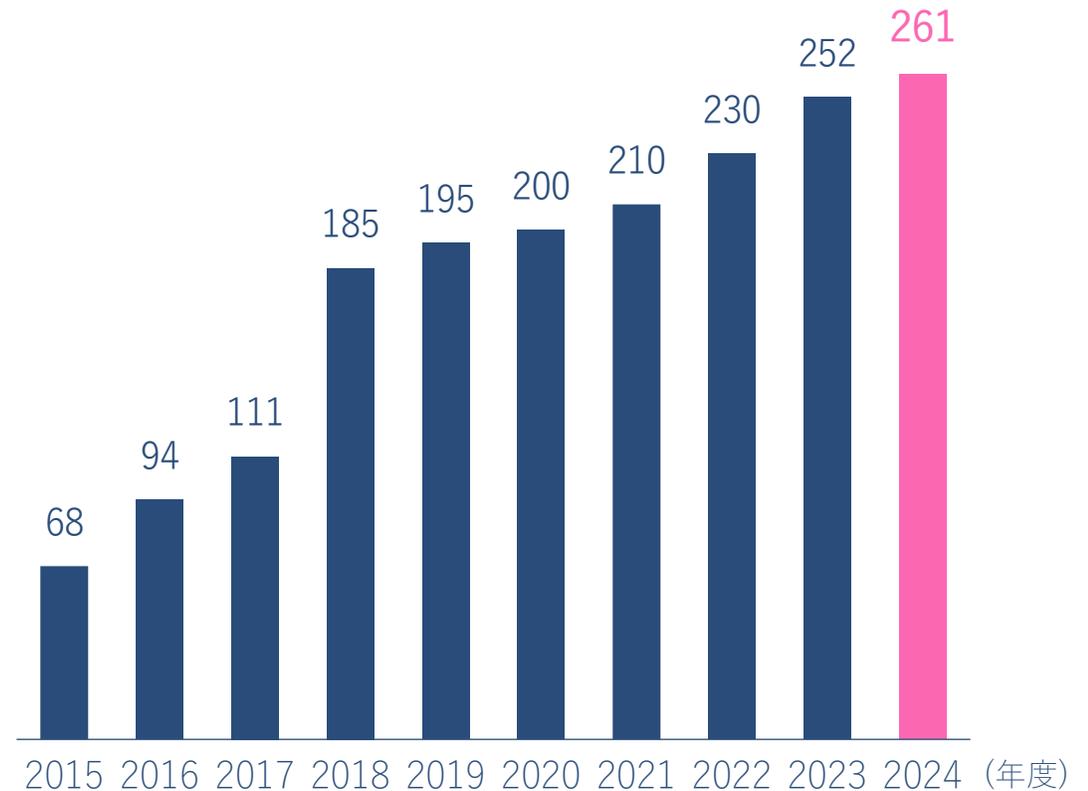
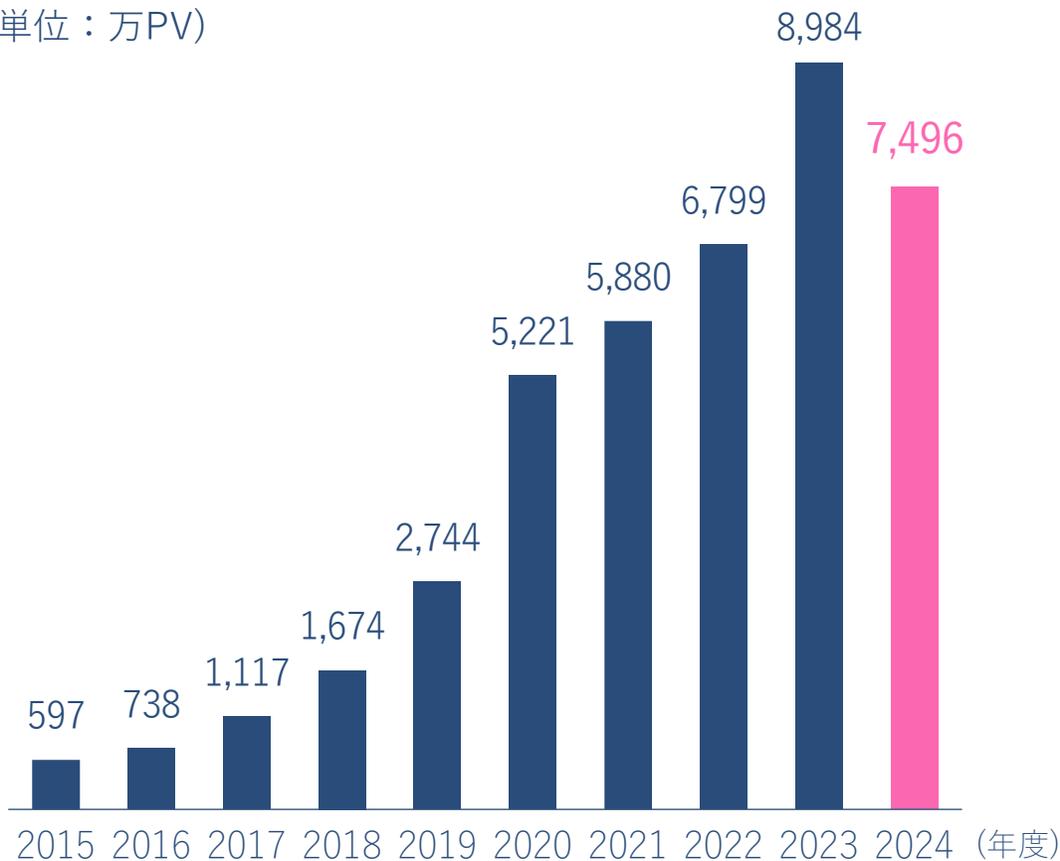
- PR TIMESのサイト閲覧数は2023年8月に過去最高の8,984万PVを記録、2024年度内の最高サイト閲覧数は10月度に7,496万PVを記録。
- PR TIMESのプレスリリースを原則原文のまま転載するパートナーメディアは261媒体。

期中月間最高サイト閲覧数

期末パートナーメディア数

(単位：万PV)

(単位：媒体)



(※) : Google Analytics (GA4) 調べ

• 2024年度通期のパブリシティ数は258媒体 496件（前期比121.9%）と過去最高を更新

 TV 16媒体 16件

ABEMA TV「ABEMAヒルズ」 | NHK「サンデースポーツ」 | TOKYO MX「おはリナ！」 | 関西テレビ放送「newsランナー」 | サンテレビ「キャッチ+」 | TBS「THE TIME,」 | TBS「news23」 | TBS「Nスタ」 | テレビ朝日「グッド！モーニング」 | 東京MX「日曜はカラフル2 天使篇」 | BS-TBS「噂の！東京マガジン」 | フジテレビ「めざましテレビ」 | 毎日放送「よんちゃんTV」 | 読売テレビ「かんさい情報ネットten.」 | 読売テレビ「す・またん！」 | NHK神戸「リブラブひょうご」

 ラジオ 5媒体 5件

J-WAVE「INNOVATION WORLD」 | FM軽井沢「にちようび × ノーマル」 | Kiss-FM KOBE「バンディ's What's Going On！」 | 渋谷のラジオ「渋谷でランチトーク」 | ラジオNIKKEI「この企業に注目！相場の福の神」

 雑誌 34媒体 48件

印刷雑誌 | Oggi | carton & box | かがわ経済レポート | 株主手帳 | 企業と広告 | クロワッサン | 月刊ぎふとPREMIUM | 月刊終活 | 月刊全調協ニュース | 月刊メニューアイディア | 月刊プリテックスステージ | 懸賞なび | 広報会議 | CALL CENTER JAPAN | ゴルフ特信 | 財界 | Signs&Displays | サンキュ！ | CS STUDIO MAGAZINE | CM通信 | 週刊ダイヤモンド | 宣伝会議 | ソイフードジャーナル | ダイヤモンドZai | 日経マネー | BtoB コミュニケーション | VISION OKAYAMA | 広島経済レポート | ファイナンス | PHASE 3 | POP EYE | MONOQLO | ラジオライフ

 新聞 65媒体 123件

朝日新聞 | 糸島新聞 | 愛媛新聞 | 神奈川新聞 | 河北新報 | 北日本新聞 | 岐阜新聞 | 京都新聞 | 神戸新聞 | 佐賀新聞 | The Bunka News | 産経新聞 | サンケイスポーツ | 山陽新聞 | 自動車タイヤ新聞 | 信濃毎日新聞 | 酒類飲料日報 | 食品化学新聞 | 食品産業新聞 | 新文化 | 新聞情報 | 新聞情報すべしある版 | 新聞通信 | 新聞之新聞 | 新聞報 | スポーツニッポン | 総合報道 | 中国新聞 | 中日新聞 | デイリースポーツ | 東京新聞 | 東日新聞 | 都政新報 | 富山新聞 | 塗料報知 | 奈良新聞 | 西日本新聞 | 日刊県民福井 | 日刊工業新聞 | 日刊食品通信 | 日刊水産経済新聞 | 日刊スポーツ | 日刊速報冷食タイムス | 日本経済新聞 | 日本食糧新聞 | 日本ネット経済新聞 | 日本流通産業新聞 | フードウィークリー | 報知新聞 | 北陸中日新聞 | 北海道建設新聞 | 北海道新聞 | 北國新聞 | 毎日新聞 | みなと新聞 | 南日本新聞 | 宮崎日日新聞 | 山形新聞 | 山口新聞 | 読売新聞 | 旅行新聞 | 冷食タイムス | 冷食日報 | 冷凍食品新聞 | 労働新聞

 Web 138媒体 304件

RTB SQUARE | IR INFOナビ | Aismiley | ITキャピタル | ITトレンド | ITmediaマーケティング | アオモリジョイン | アスキーグルメ | ASCII STARTUP | アスピック | @DIME | アドクロ | AdverTimes. (アドタイ) | advanced by massmedian | アンドエンジニア | AMP | ecclab | ECzine | ECのミカタ | Email Rising | いろいろまとめBeans | Web担当者Forum | ウォーカープラス | NHK NEWS WEB | EBISUMART Media | FNNプライムオンライン | MBSニュース | エンタックス | M&A総合研究所 | OVO (オーヴォ) | オントイコ | おとなの週末Web | Offers Magazine | ORICON NEWS | お笑いナタリー | KagoshimaniaX-カゴシマニアックス | 株主優待ガイド | 軽井沢ウェブ | カワコレメディア | 関西テレビ放送 | 起業ログ | 月刊終活WEB | 月刊総務オンライン | 決算が読めるようになるノート | 神戸ジャーナル | 広報デリ | 公募ニュース | CodeZine | CALL CENTER JAPAN | コマースピック | サードニュース | SIGN NEWS SITE | THE GOLD60 | サツイベ | 札幌経済新聞 | サンスポ | サンテレビNEWS | J-Net21 | 渋谷新聞 | 市民タイムスWEB | しもプロ | 女子アナ47 | 女子SPA！ | syncAD | SQOOL.NETゲーム研究室 | D2C・DXニュース | スポーツ報知 | スポニチ Sponichi Annex | XEXEQ | 船場経済新聞 | タウンニュース | 楽しいニュース.com | 地域NEWS号外NET下関市 | 中京テレビNEWS NNN | 中日スポーツ | 中日BIZナビ | 通販新聞 | DXマガジン | デイリースポーツニュース online | できるネット | デジタル行政 | 鉄道チャンネル | テレ朝news | トウシル | 東スポWEB | 東洋経済オンライン | ナリナリドットコム | 西スポWEB OTTO! | 日刊水産経済新聞 | 日刊スポーツ | 日経クロステック | 日経クロストrend | nippon.com | 日本経済新聞 | 日本ネット経済新聞 | News You Use | PR EDGE | PR GENIC | びわ湖大津経済新聞 | HintClip | fasmе | FISCO | FYTTE | formLab | 福岡のニュース | 福島民報 | フクリパ | Voicy「藤沢久美の社長Talk」 | プリント&プロモーション | PRESIDENT Online | ProductZine | 文化通信デジタル | BASEBALL KING | ベストカレンダー | VOIX biz | 訪日ラボ | BOXIL Magazine | Markezine | MyturnMagazine | マイナビウーマン | マイナビ転職 | マイナビニュース | 毎日新聞デジタル | マガジンサミット | マナミナ | マネー現代 | Manegy | Media Innovation | MONOQLO | Yahoo!ニュース | Universal OOH | LASISA | LISKUL | レスポンス (Response) | レッツエンジョイ東京 | ロケットニュース24 | LOGISTICS TODAY | WorkMaster

- Yahoo!ニュース、livedoorニュース、SmartNews、LINE NEWS、NewsPicks、antennaなどに転載されたパブリシティは省略。
- 新聞、雑誌から各オンライン版に転載されたパブリシティは省略。
- PR EDGE、Workmasterは、当社および当社子会社が運営するメディアです。
- 当社の株価に関連したパブリシティは対象外。
- 複数回掲載された媒体を含む。

1

2024年度通期 決算・サービス動向

2

2024年度第4四半期 四半期決算

3

2024年度第4四半期 サービス動向

4

トピックス & 参考情報

5

2025年度 業績予想

6

Road to Milestone2025, towards 2030

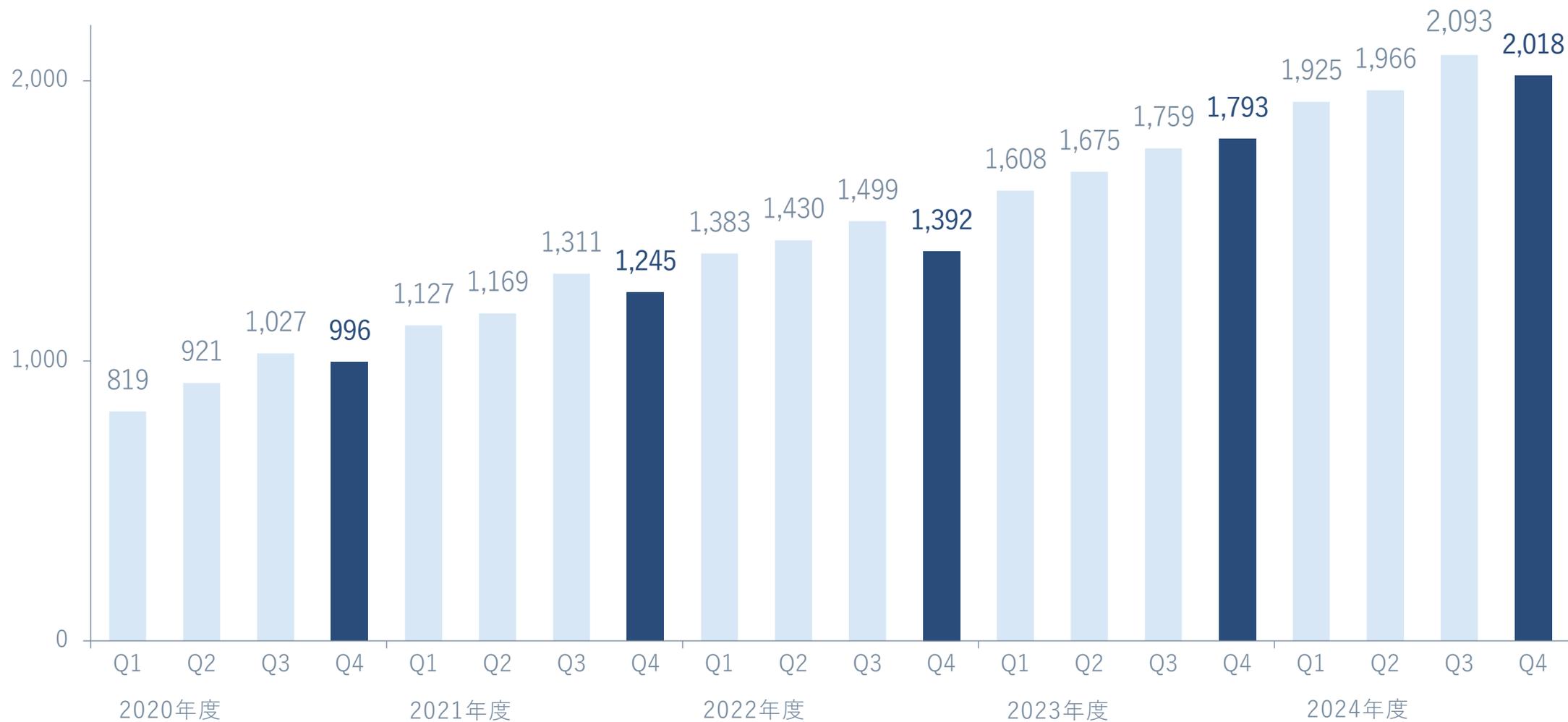
- 売上高20億18百万円（前年同期比112.5%、前四半期比96.4%）、営業利益2億8千万円（前年同期比121.3%、前四半期比43.9%）。
- 子会社NAVICUSに係るのれん99百万円及び投資有価証券1億1千万円を減損処理して、当期純利益は前年同期比68.7%となった。

(単位：百万円)	2023年度	2024年度				前年同期比	前四半期比
	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	(YonY)	(QonQ)
売上高	1,793	1,925	1,966	2,093	2,018	112.5%	96.4%
売上総利益	1,500	1,630	1,658	1,765	1,667	111.1%	94.4%
(粗利率)	(83.7%)	(84.7%)	(84.3%)	(84.4%)	(82.6%)	—	—
販売管理費	1,269	1,145	1,184	1,127	1,386	109.3%	123.0%
営業利益	231	484	473	638	280	121.3%	43.9%
(営業利益率)	(12.9%)	(25.2%)	(24.1%)	(30.5%)	(13.9%)	—	—
EBITDA	291	534	529	693	416	142.7%	60.1%
当期純利益	160	320	313	373	110	68.7%	29.6%

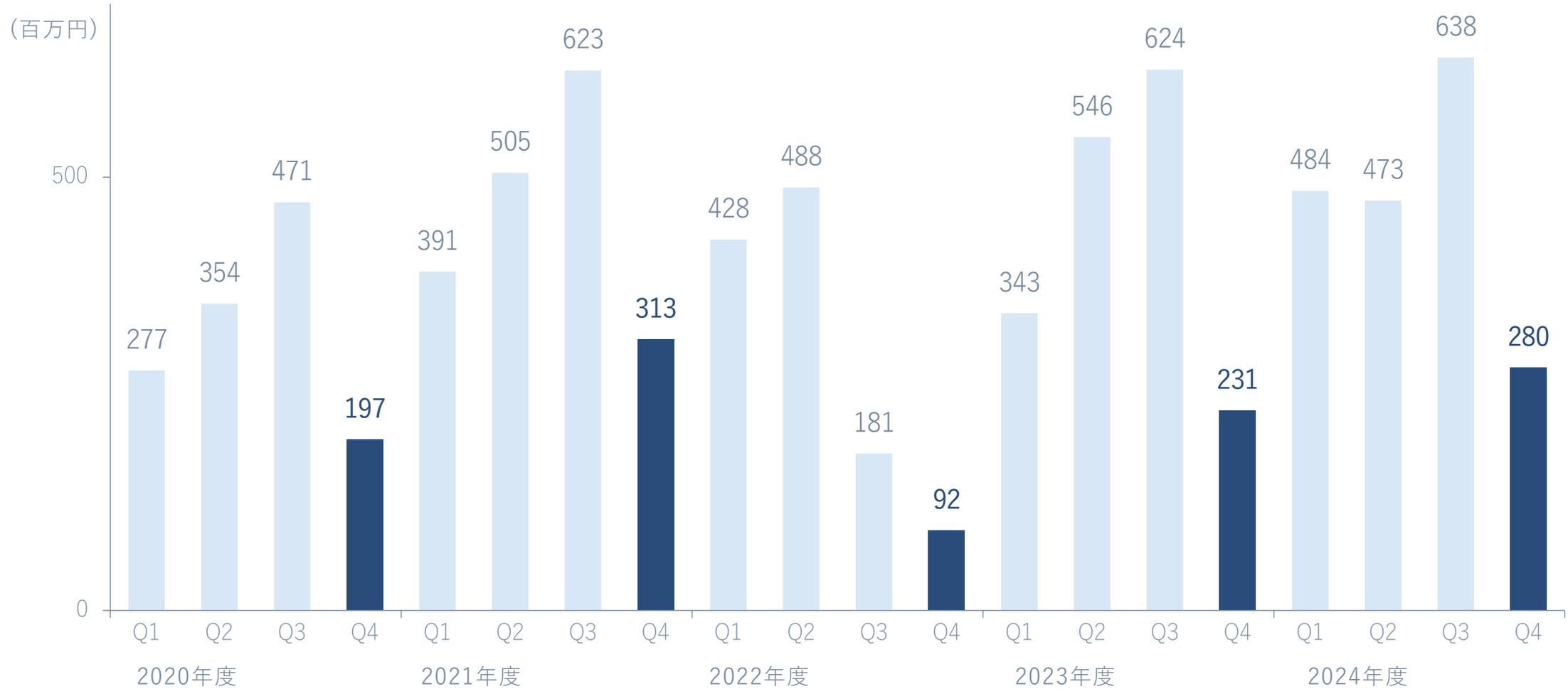
四半期売上高の推移

- 売上高は、第4四半期としては過去最高を更新。

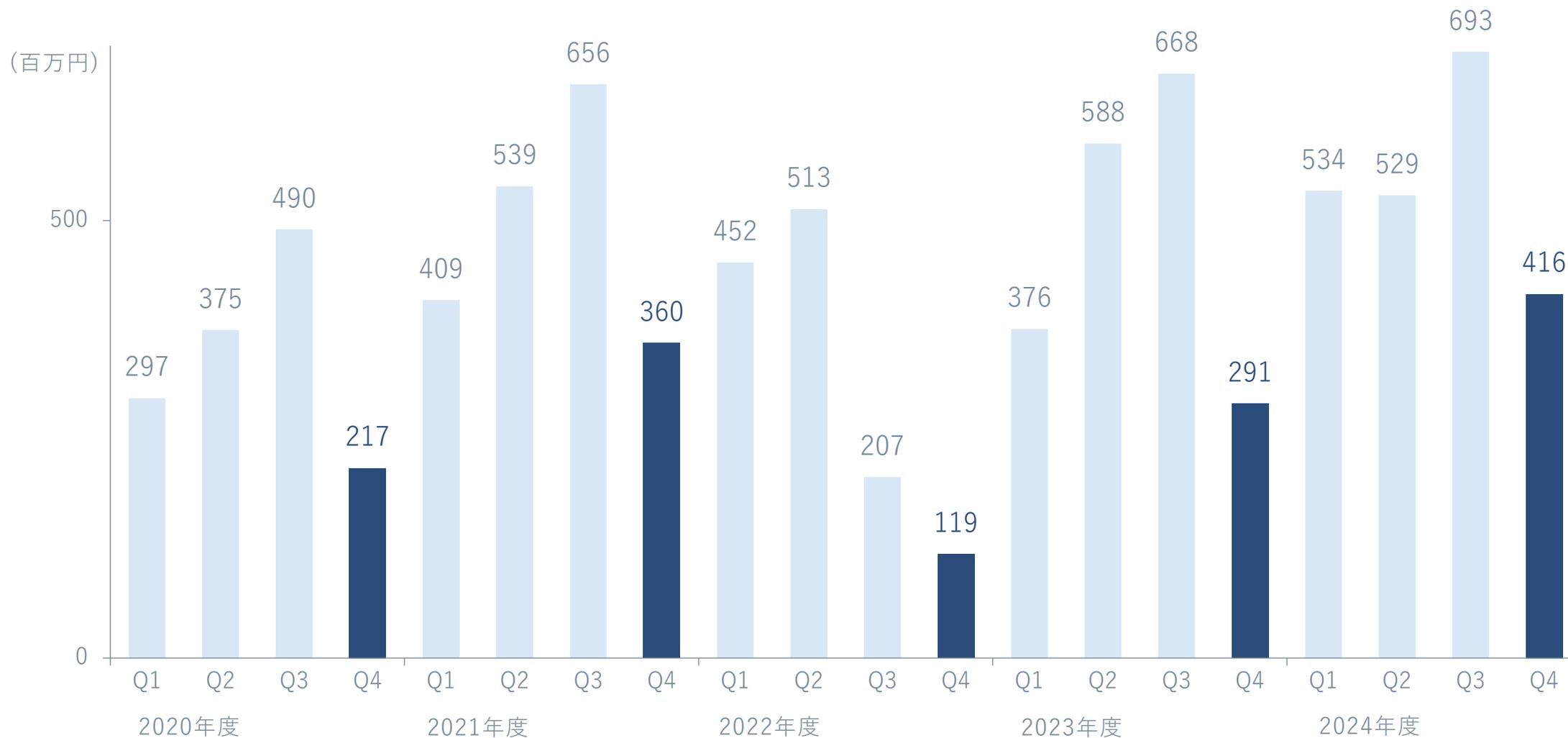
(百万円)



- 営業利益は投資を吸収しながら、第4四半期としては堅調に推移。



- EBITDAは、第4四半期としては過去最高を更新。



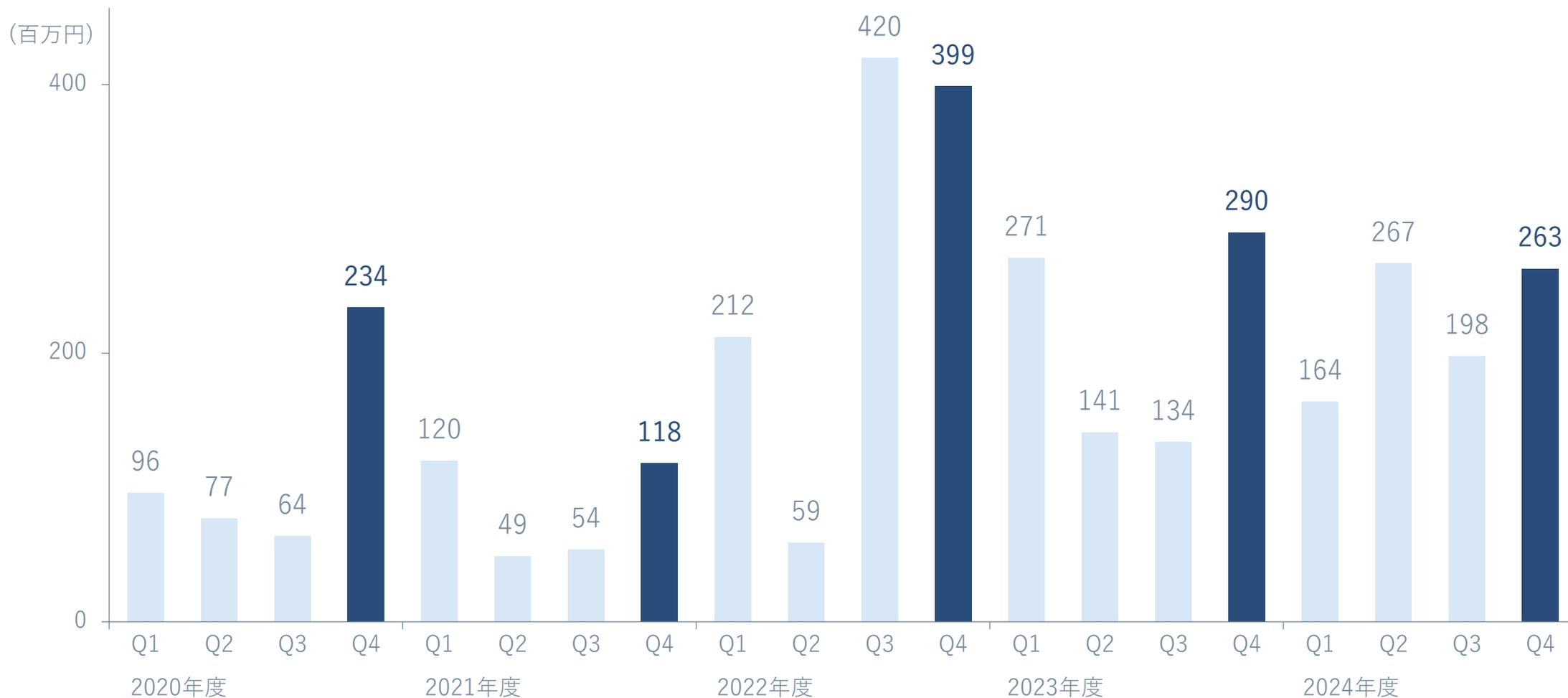
注： EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用

- S&Mでは、PR TIMESにおけるテレビCM放映や「Public of The Year」「PR TIMES カレッジ」等のイベントを主催し、JootoおよびTayoriにおいては動画広告配信やイベント出展を実施。
- R&Dでは、PR TIMESのリニューアルプロジェクトの費用が引き続き発生。
- G&Aでは、対売上高比10%未満をキープ。

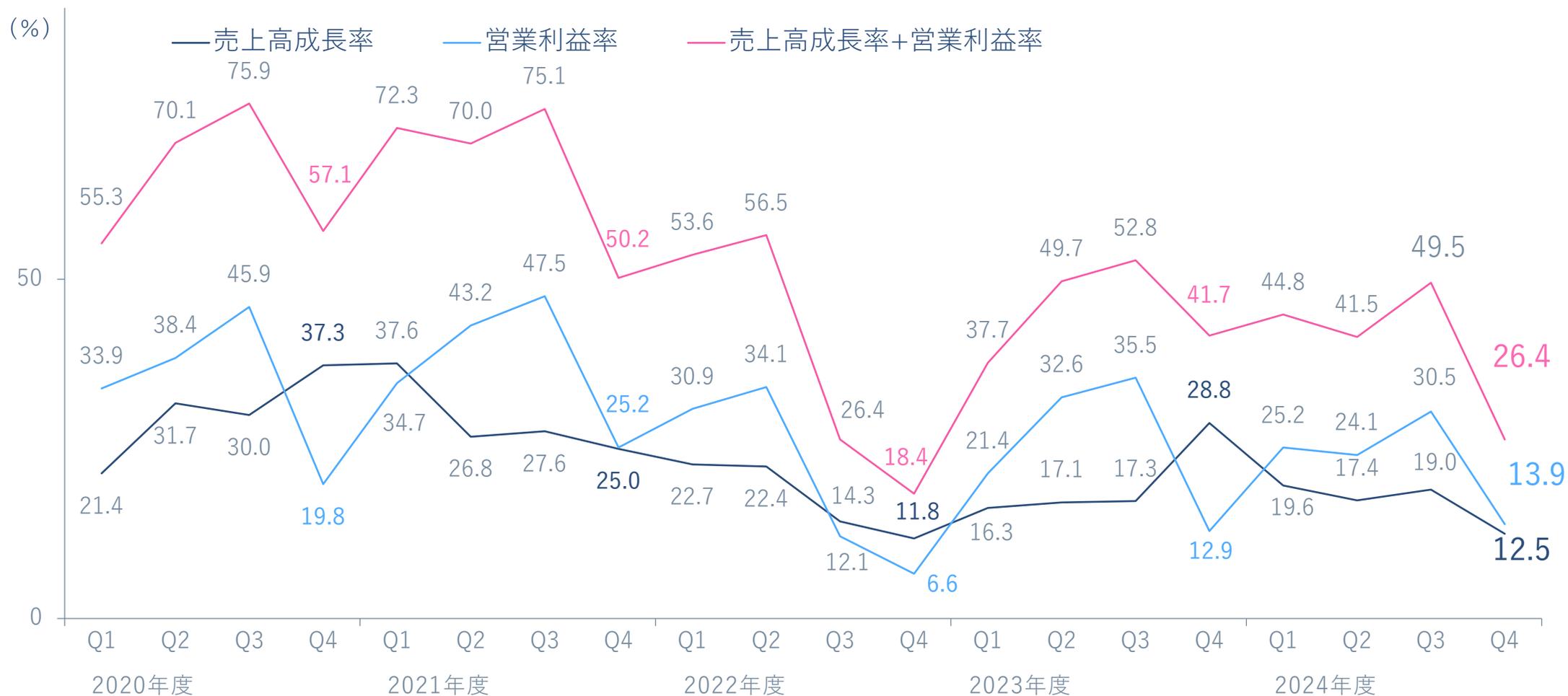
(単位：百万円)	2023年度		2024年度							
	Q4		Q1		Q2		Q3		Q4	
	金額	対売上高比	金額	対売上高比	金額	対売上高比	金額	対売上高比	金額	対売上高比
売上高	1,793	100.0%	1,925	100.0%	1,966	100.0%	2,093	100.0%	2,018	100.0%
売上原価	292	16.3%	294	15.3%	308	15.7%	327	15.6%	351	17.4%
S&M	870	48.5%	696	36.2%	747	38.0%	712	34.0%	991	49.1%
R&D	261	14.6%	279	14.5%	283	14.4%	272	13.0%	216	10.7%
G&A	137	7.7%	169	8.8%	154	7.8%	143	6.8%	178	8.8%
営業利益	231	12.9%	484	25.2%	473	24.1%	638	30.5%	280	13.9%

注：S&MはSales & Marketingの略、R&DはResearch & Developmentの略、G&AはGeneral & Administrativeの略。各数値について会計監査人の監査及びレビューを受けていません。

- 広告宣伝費は2億63百万円、前年同期比90.8%。



- 売上高成長率と営業利益率を合計した数値は26.4%。
- 今後も、積極的かつ規律ある投資を推進することで、持続的な成長と利益拡大の両立を目指す。



- 流動負債は2億17百万円増加し、その内訳として未払法人税等が75百万円、株主優待引当金が4千万円増加した。
- 子会社NAVICUSに係るのれん及び投資有価証券を減損処理して、のれん及び固定資産が大幅に減少。

(単位：百万円)	2024年2月末	2024年11月末	2025年2月末	前年同期比	前四半期比
流動資産	5,400	6,025	6,595	122.1%	109.5%
内、現預金	4,536	5,009	5,605	123.6%	111.9%
固定資産	1,671	1,806	1,645	98.5%	91.1%
内、のれん	252	208	95	37.9%	45.7%
総資産	7,071	7,831	8,241	116.5%	105.2%
流動負債	1,405	1,117	1,335	95.0%	119.5%
内、契約負債	209	284	264	125.9%	92.7%
固定負債	2	2	1	57.3%	67.1%
純資産	5,662	6,711	6,904	121.9%	102.9%
ROA	18.8%	16.2%	14.6%	—	—
ROE	22.9%	19.2%	17.9%	—	—

注：ROA及びROEは、直近12ヶ月の数値を用いて算出

1

2024年度通期 決算・サービス動向

2

2024年度第4四半期 四半期決算

3

2024年度第4四半期 サービス動向

4

トピックス & 参考情報

5

2025年度 業績予想

6

Road to Milestone2025, towards 2030



<https://prtimes.jp>

企業

利用企業社数 108,605社
国内上場企業利用率 61.5%(2,495社/4,059社)
プレスリリース数 39,816 件/月(2024.10)

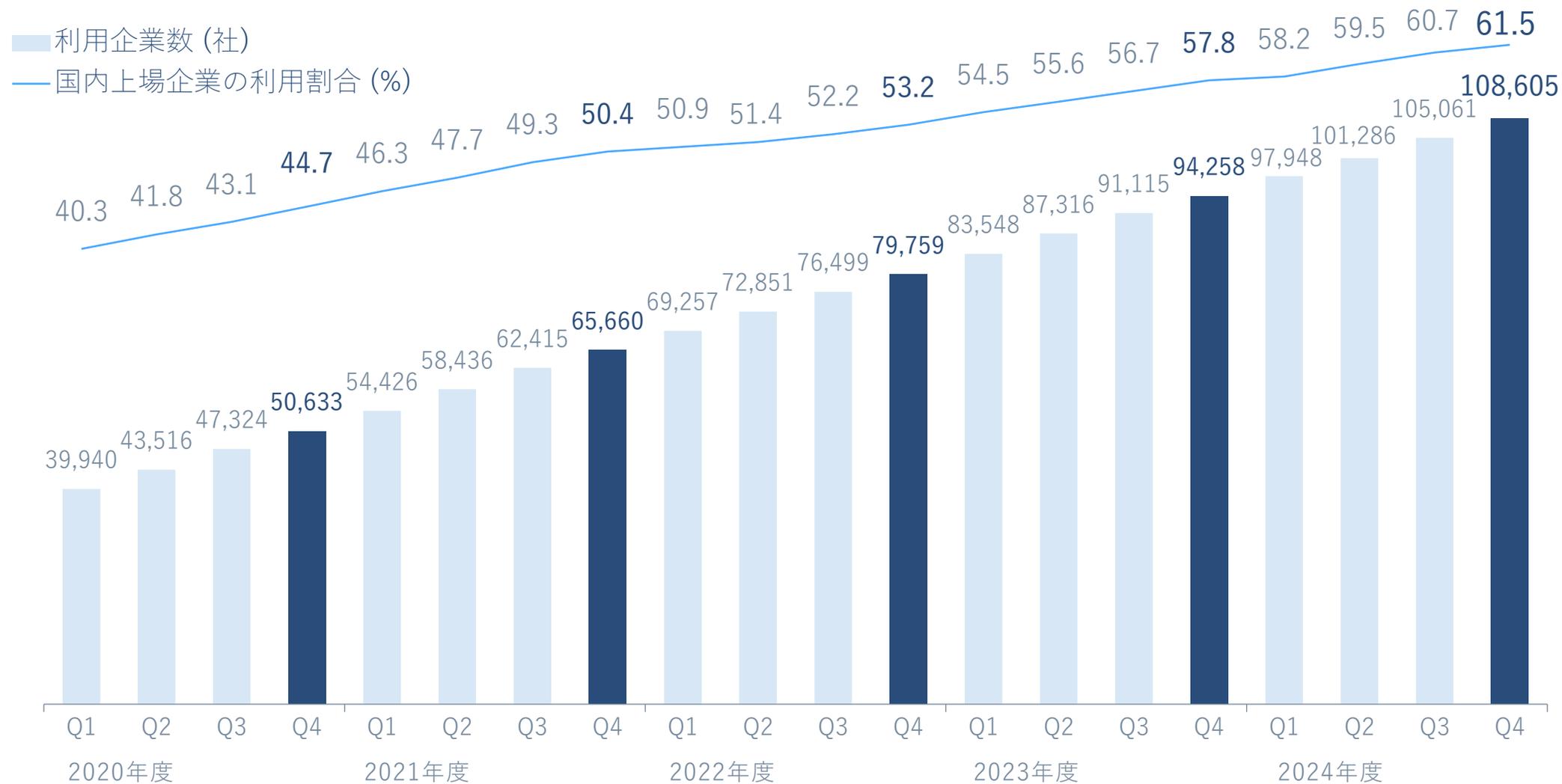
メディア

配信メディアリスト 10,892媒体
メディアユーザー数 27,521名
パートナーメディア 261媒体

生活者

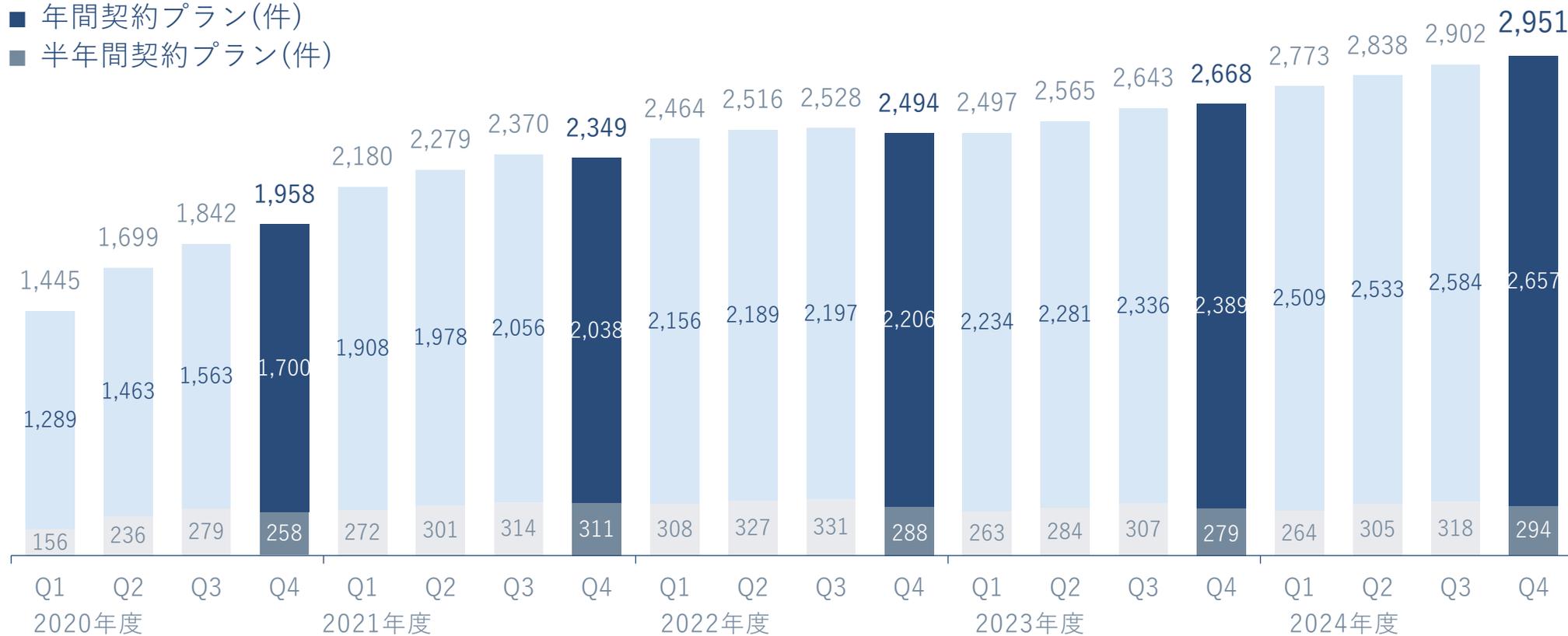
サイト閲覧数 8,984万PV/月(2023.08)
SNSアカウント Facebook 127,519
X (旧Twitter) 482,333
個人ユーザー数 236,079名

- 利用企業社数が108,605社に到達（前年同期比14,347社増・前四半期比3,544社増）。
- 上場企業のうち61.5%（2,495社／4,059社）が利用。

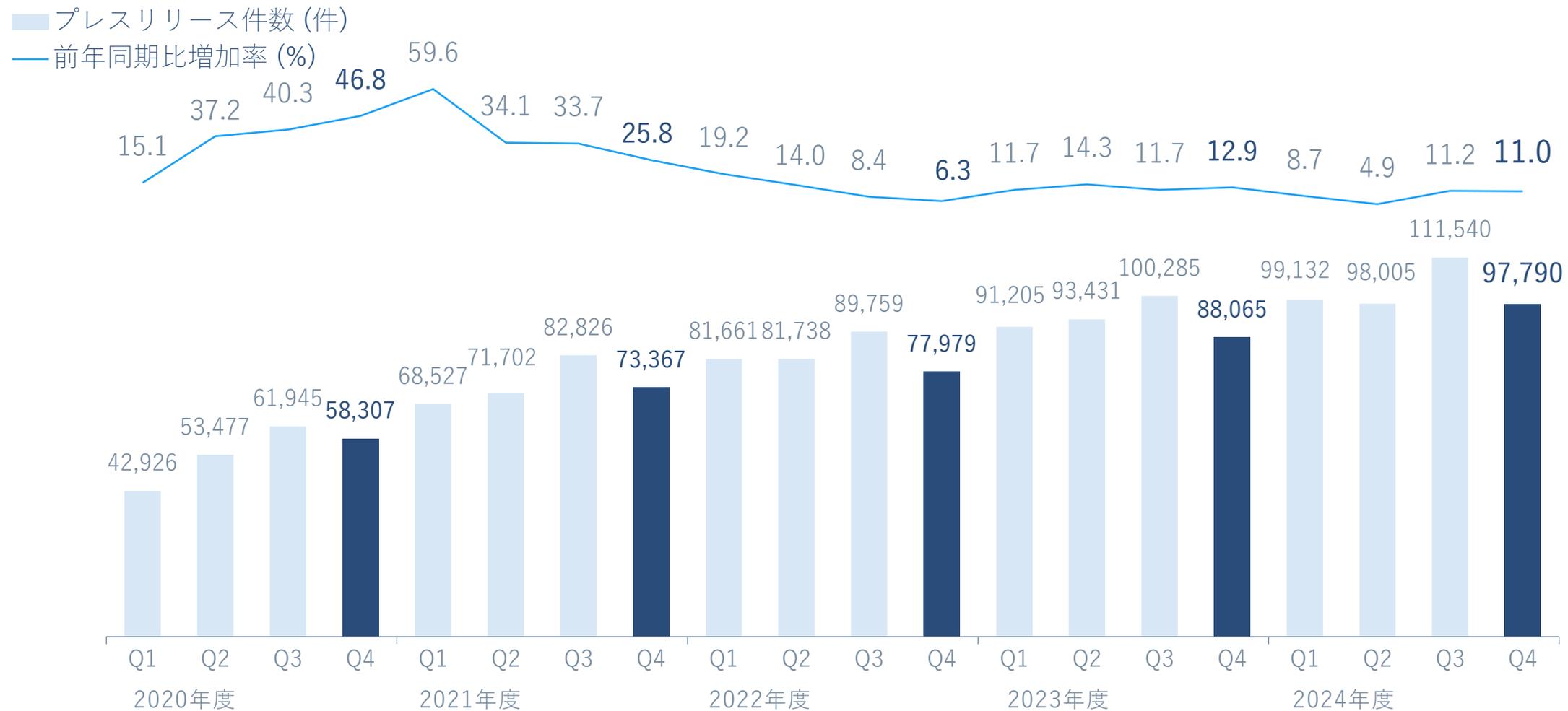


- PR TIMESには1回3万円の従量課金プランと定額課金がある。定額課金は単月契約の月額8万円、半年契約の月額7万5千円、年間契約の月額7万円がある。年間契約プランと半年契約プランとその合計を開示。
- 期間契約プラン合計は2,951社（前年同期比283社増・10.6%増）、年間契約プランは2,657社（同268社増・11.2%増）、半年契約プラン294社（同15社増・5.4%増）。

■ + ■ 期間契約プラン合計(件)
 ■ 年間契約プラン(件)
 ■ 半年間契約プラン(件)



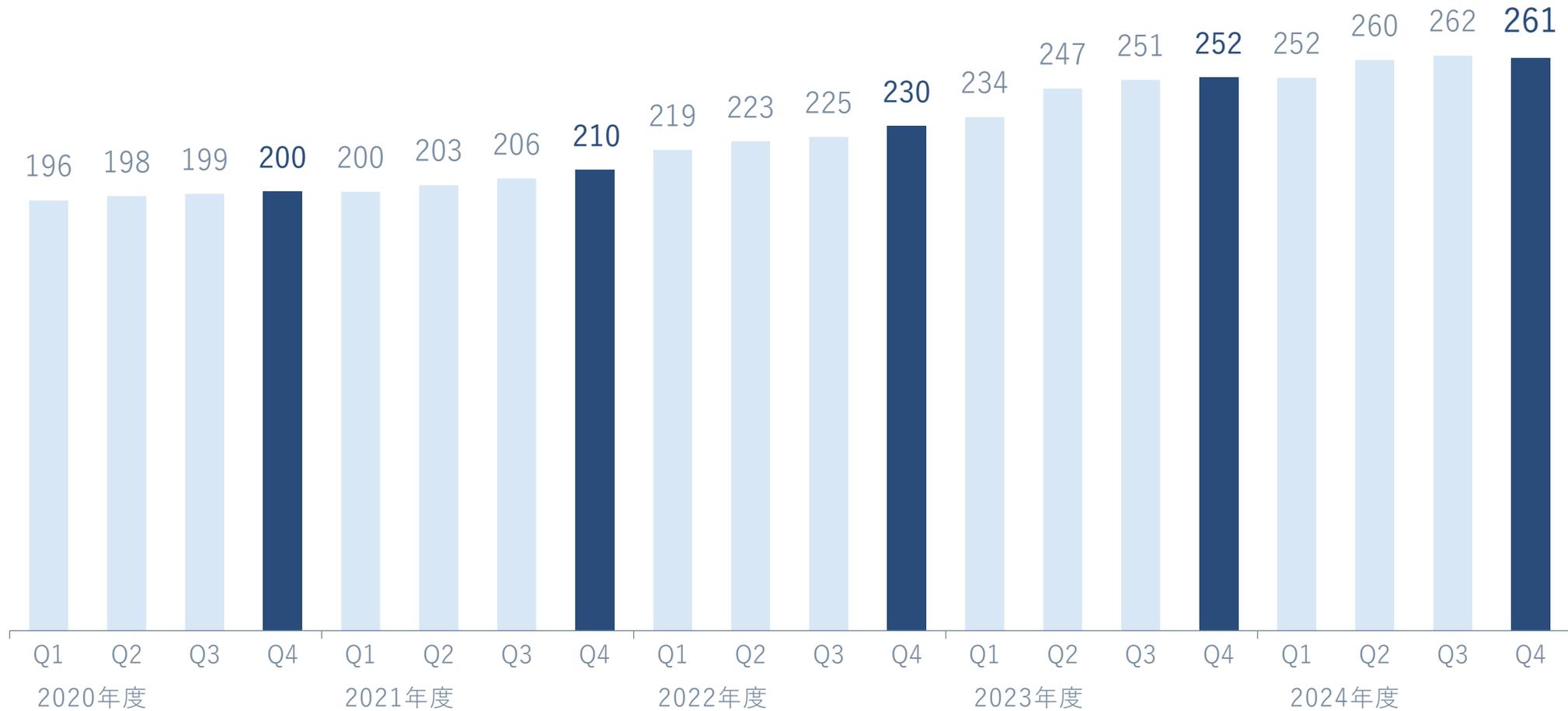
- プレスリリース件数は97,790件（前年同期比11.0%増・前四半期比12.3%減）、プレスリリース件数の成長率は10%台を堅持。
- 第4四半期は年末年始による営業日数の減少に加えて、前年がうるう年であったことなど季節要因が影響。



- パートナーメディア数は261媒体（1媒体追加、2媒体減少）。

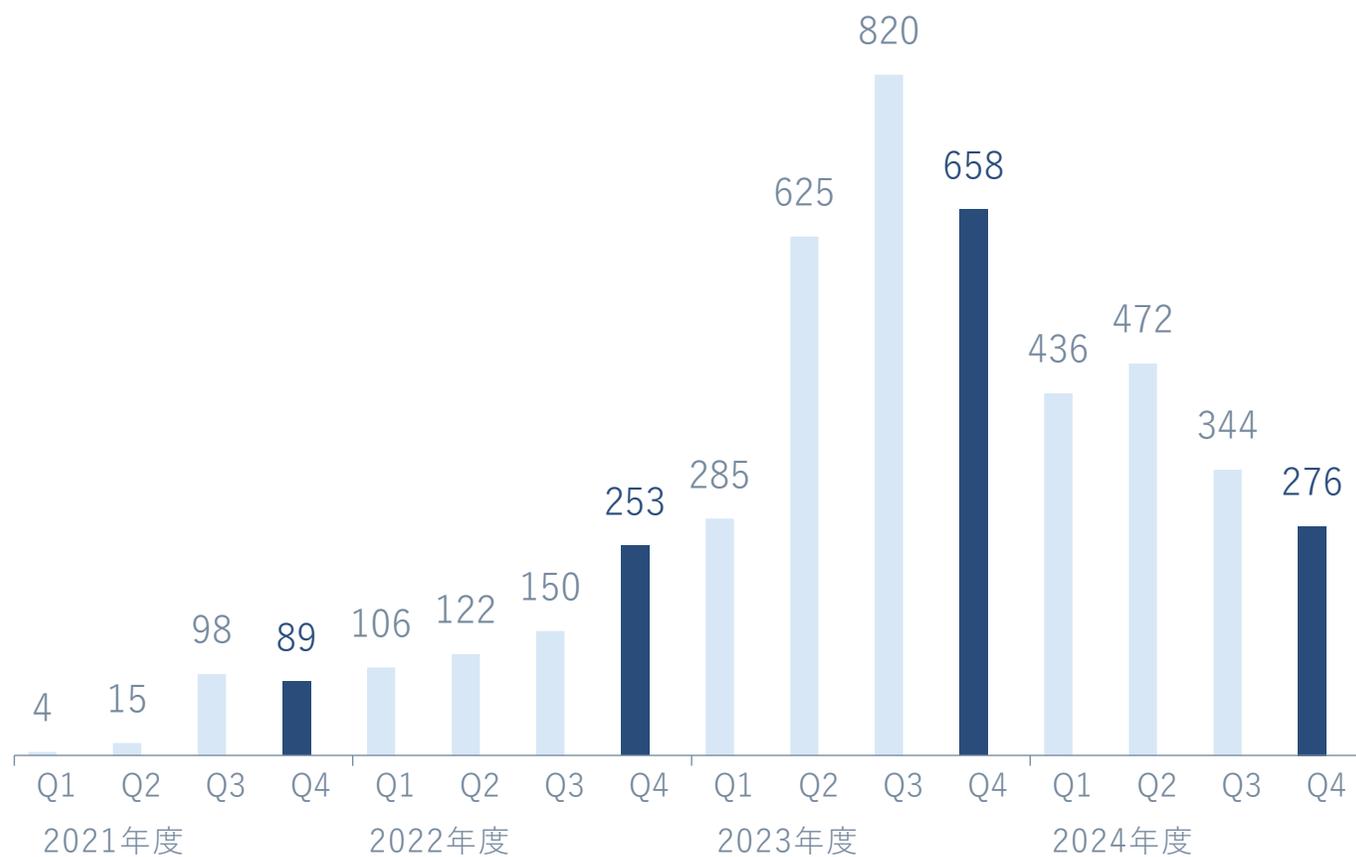
@niftyニュース

(媒体)

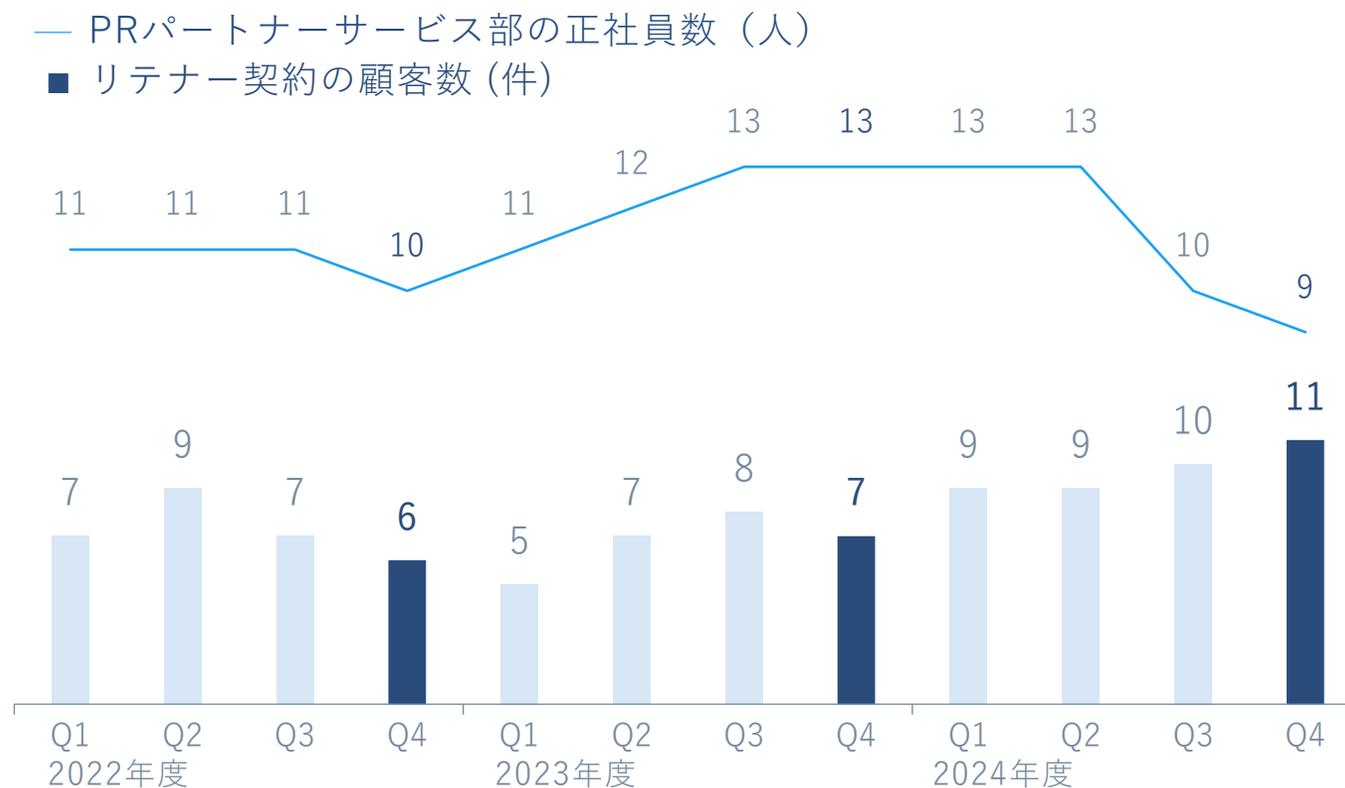


- PR TIMES STORYのストーリー件数は276件（前年同期比58.1%減、前四半期比19.8%減）となり、計画2,298件には大きく届かず。
- PR TIMES STORYをPR TIMESの周辺サービスにおける注力領域から当面外す。

■ ストーリー件数実績 (件)

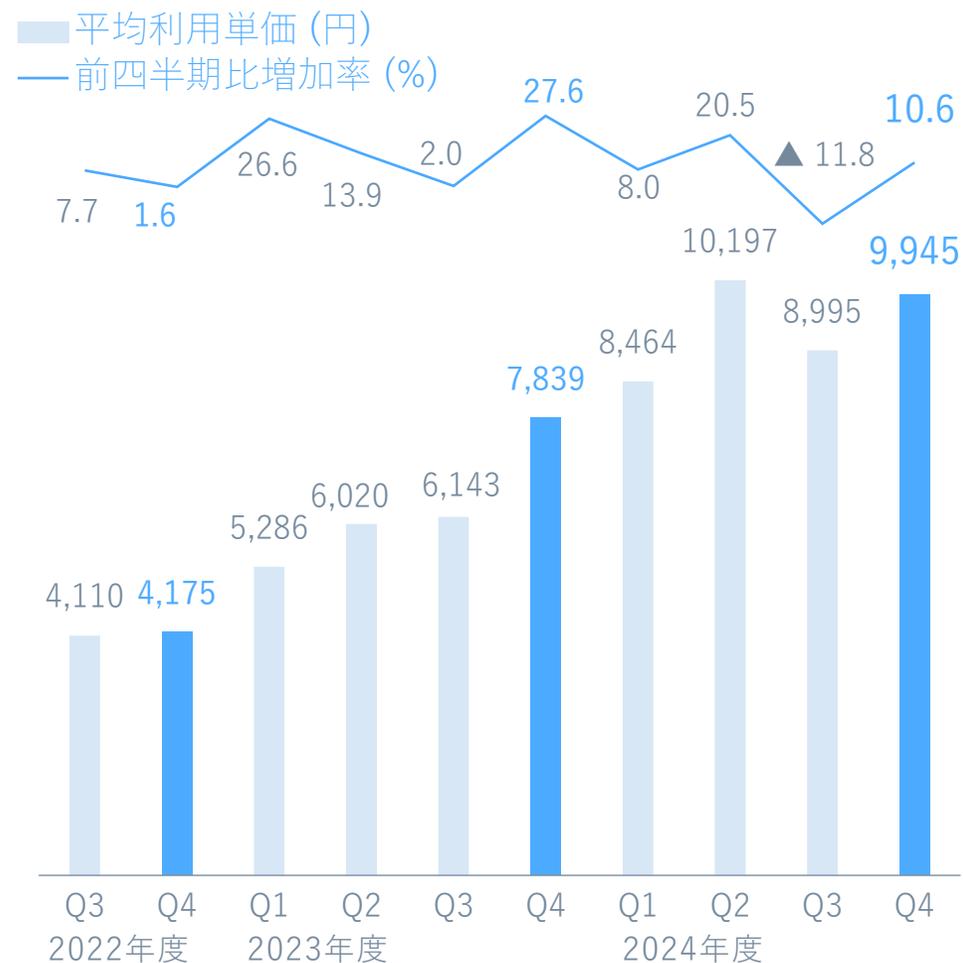
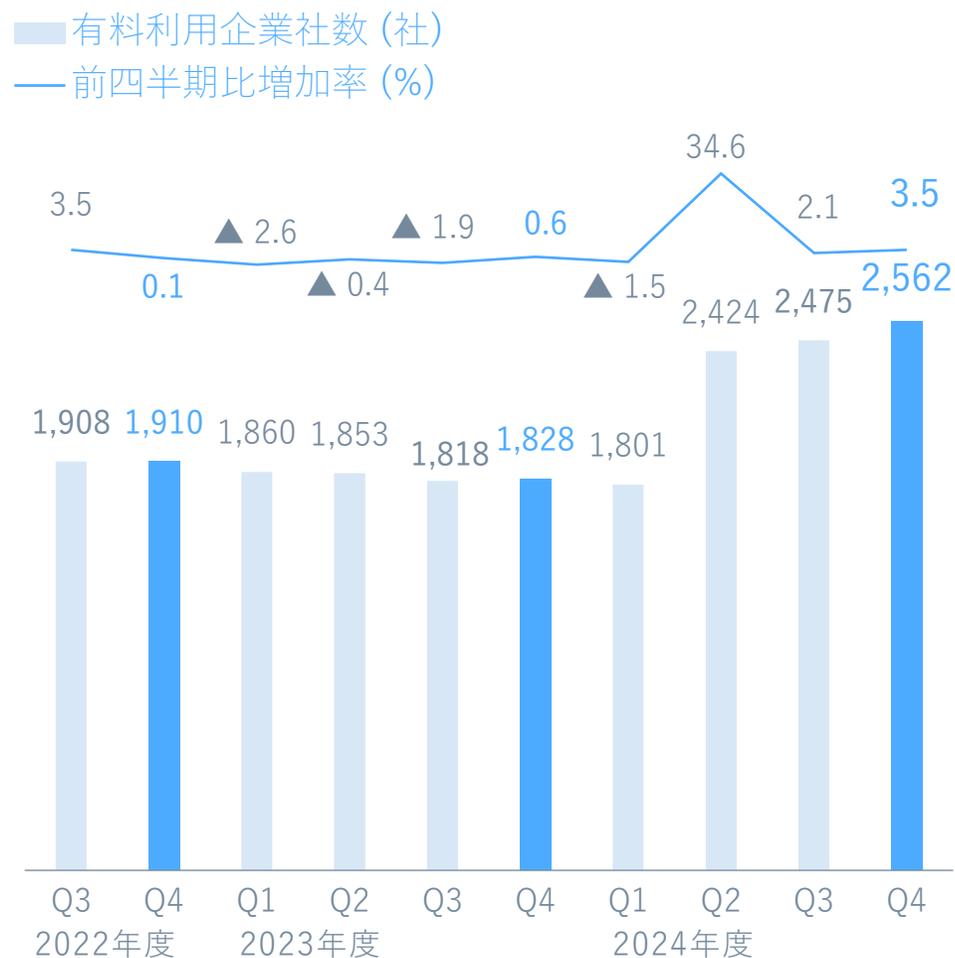


- PRパートナーサービスをPR TIMES事業ユニットの直轄体制とし、サービス構造と組織を再構築する。
- 顧客と社会に対して価値を創造し、サービスのプロセスを構築し、時に変革しながら、持続的なサービス成長と収益拡大を実現するマネジメント人材の台頭を促す。あわせてメンバーの基礎的な能力開発を始動した。
- 戦略に基づき目標とKPIを再設定し、顧客とのエンゲージメントとサービスの健全な成長、そして個人とチームの成果を可視化。

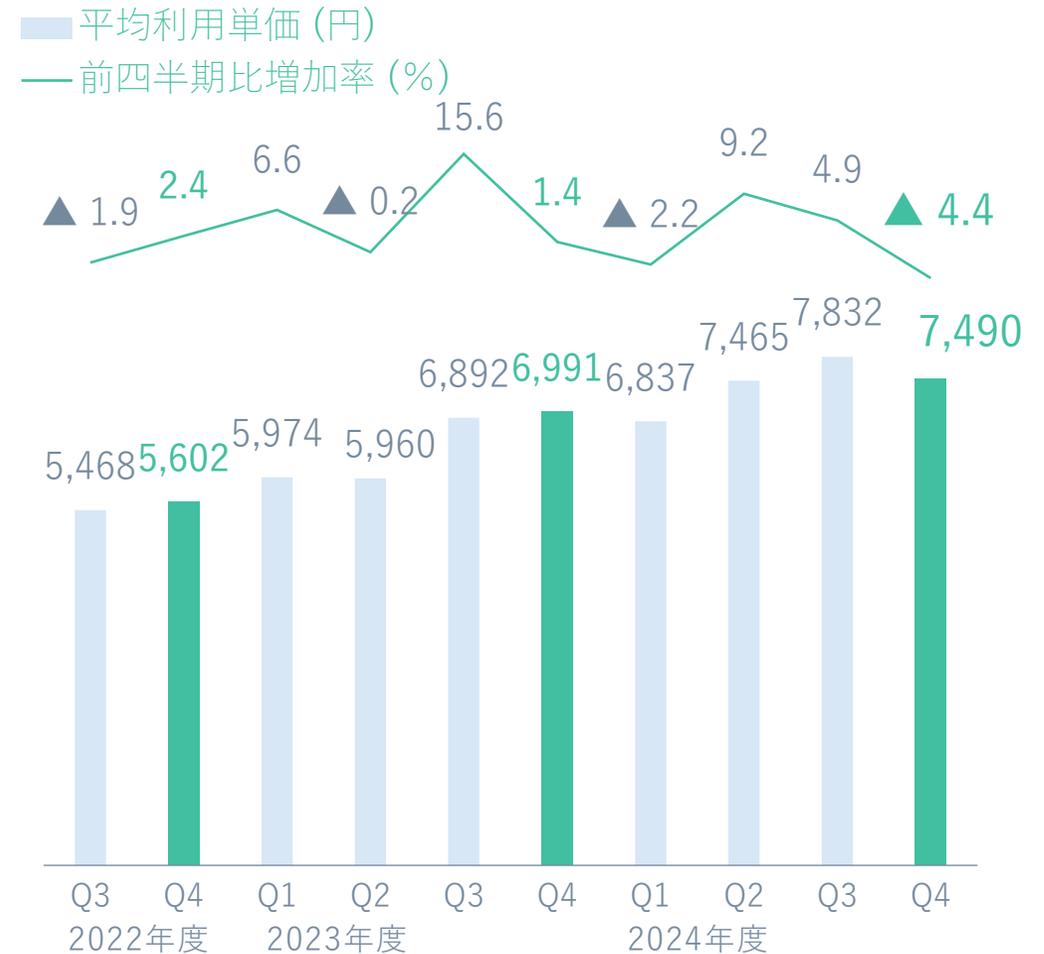
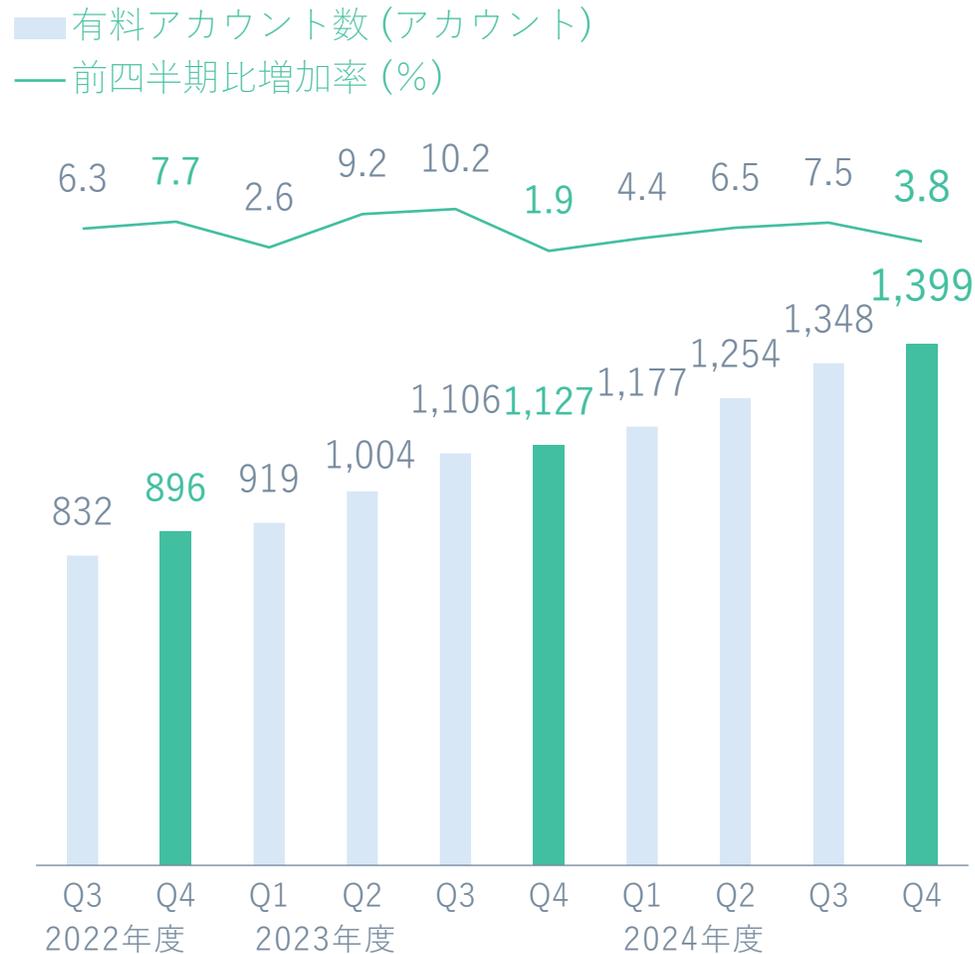


(※)リテナー契約の顧客数は、月額50万円以上の契約を締結し、直近6カ月連続で稼働実績がある顧客数を指す。

- 有料利用企業社数は2,562社（前四半期比87社増 3.5%増）に達し、上期に34.6%の大幅増を記録した後も反動減はなく、3四半期連続で増加を実現。
- 1社あたりの平均利用単価が9,945円（前四半期比10.6%増、前年同期比26.9%増）、上期に初期導入やAPI連携支援などのオプションサービスが好調だった反動による一時的な影響を受けたものの復調。



- 有料アカウント数は1,399アカウント(前四半期比51アカウント増 3.8%増)、16四半期連続で増加。
- 平均利用単価は7,490円(前四半期比4.4%減)。前四半期に導入・運用支援プランなどの高単価プラン利用が増えたが、第4四半期では落ち着き、全体の単価はやや低下している。



1

2024年度通期 決算・サービス動向

2

2024年度第4四半期 四半期決算

3

2024年度第4四半期 サービス動向

4

トピックス & 参考情報

5

2025年度 業績予想

6

Road to Milestone2025, towards 2030



PR TIMES
PR TIMES
PR TIMES

- 東証から受領した判定結果は「流通株式時価総額」のみ不適合。生命保険会社及び一部の事業法人である株主から純投資目的である旨を確認しており、当該株式を流通株式として算出したが不適合（各数値を括弧で記載）。
- 流通株式時価総額の算出に適用された株価は、事業年度の末日以前3か月間（2024年12月～2025年2月）の日々の最終価格の平均株価1,966円だが、発行済株式総数と流通株式比率に変化がない場合、流通株式時価総額の基準である100億円に適合するには平均株価は2,013円が必要。
- 第3四半期決算発表の翌営業日から3月末日までの平均株価は2,284円、2025年3月31日の終値は2,432円といずれも適合水準である。
- 中期経営目標「Milestone2025」の最終年度である2026年2月末日までに上場維持基準の適合に向けた取り組みを進める。

	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均売買代金 (億円)
プライム市場 上場維持基準	20,000	100	35.0	0.2
当社の状況 (2025年2月末時点)	48,571 (49,787)	95 (97)	35.9 (36.8)	0.5
適合状況	適合	不適合	適合	適合
第3四半期決算発表の 翌営業日から3月末日 までの平均株価で算定 した場合の適合状況	(49,787)	(121) 適合	(36.8)	—

- 上場維持基準への適合に向けて、株式時価総額の拡大と流通株式比率の向上の両輪で取り組んできた。
- 無配方針を転換して初配を決定したことと、持続的な成長と利益拡大が評価されつつある。第3四半期決算発表の翌営業日から3月末日までの平均株価2,284円と、2025年3月31日の終値2,432円はいずれも適合水準の株価2,013円を上回る。
- しかし流通株式比率の向上は軽微に留まる。



■ 株式時価総額

	評価	状況
業績向上	継続	2025年度の業績予想は営業利益31億49百万円（前期比67.7%増）。
株主還元	開始	無配方針を転換し初配を決定。DOE 2%以上を基準に累進配当の方針。
開示強化	継続	決算短信と株主総会招集通知を日英同時開示。英文の決算説明資料を後日開示。

■ 流通株式比率

	評価	状況
売却打診	断念	当社株式を55.3%有する株式会社ベクトルへの継続的に売却打診したが断念。同グループへの売上比率は1.5%へ低下。
社員株主	継続	未行使のストックオプション168,400株（1.3%）がある。直近4年度で譲渡制限株式報酬12,211株を付与。

- 新たに女性が執行役員に就任し、当社として初めて執行役員5名体制をスタート。
- コーポレート部門の整理統合を進めつつ、適所適材でリーダーを選びながら、当面は組織編成を継続する。
- JootoとTayoriは次のリーダーの台頭を促すために、営業体制を再編。
- PRパートナーサービスはPR TIMES事業ユニット直轄の4チーム制とし、サービス再建を目指す。



- 経営メンバーに小暮桃子が加わって5名に、次は執行役員6名体制と常勤取締役1名の交代推進の実現へ。



- 新役職に就く社員だけでなく、全社員にとって成長機会となる組織変更を目指す。
- 適格者不在のポジションを中心に、人材育成と能力開発を急ぐ。

プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001519.000000112.html>
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001504.000000112.html>

- 社外取締役にマクロミル創業者の杉本哲哉氏とPwCアドバイザー シニアアドバイザー福谷尚久氏、社外監査役に弁護士の南知果氏が就任内定。
- 2025年5月の第20回定時株主総会後は、取締役会において独立社外取締役が66.7%（6名中4名）を占め、取締役・監査役の女性比率は22.2%（9名中2名）となる予定。



杉本哲哉氏

杉本氏がネットリサーチ最大のマクロミルを創業から4年で上場させ、グローバル化や競合との経営統合を推し進めた上場企業経営の手腕、社会課題に対する鋭敏な感覚と見識、幅広い事業経験に基づく的確な判断が、取締役会の議論を活性化させ、当社に中長期的な価値向上をもたらすことを期待。

内
定
理
由



福谷尚久氏

福谷氏が銀行、証券会社、投資銀行等にて30年以上FA業務に従事し、海外企業の大型案件から国内中堅・中小企業まで多種多様なM&Aを成約に導いた経験、またアバントグループ等で上場企業の社外取締役に15年に亘り務めた経験から、当社の経営戦略の策定やガバナンスの強化に寄与することを期待。



南知果氏

南氏が大手法律事務所、スタートアップ企業などを経て、経済産業省でスタートアップ政策を担当した経験から、法律の専門家の経験・知識に加え、事業者や政府など異なる立場を理解し、執行側と監査側の視点を行き来しながら、客観的な立場から監査機能を果たすことを期待。

- PR TIMESのお客様84社が参加し、食品飲料や日用品といった現物商品を中心に、お食事券やECサイトで使用できるクーポンなど、合計88種類の株主優待品を用意。
- 普段は販売していない株主限定の「体験型」「応援型」優待品には5社が参画し、3年以上保有している長期保有株主向けには1万円以下の優待品として24社のお客様が参加している。
- 2024年8月末日および2025年2月末日の両時点での株主に、2025年5月上旬に発送予定の「株主優待通知書」にて案内する。

PR TIMES株主限定の「体験型」「応援型」優待品例

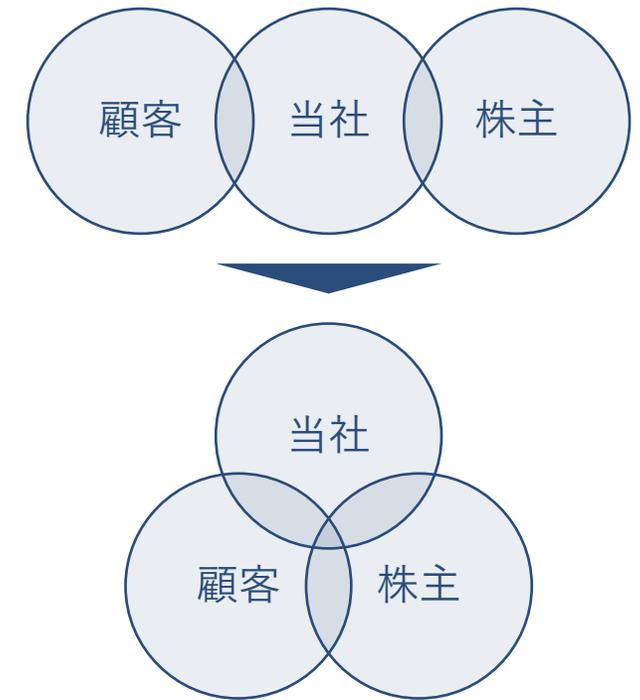
AFURI株式会社 親子で参加！AFURI総本店「ZUND-BAR」で らーめん作り体験&お食事付きプラン

親子で一緒に楽しめる、PR TIMES株主優待限定の特別体験プランです。AFURI総本店「ZUND-BAR」でラーメン作りを実際に体験し、その場で自ら作ったラーメンをお食事として味わっていただけます。



株式会社もりおか パークマネジメント 応援したい動物を飼育員が至近距離で撮 影した癒され・迫力ショートムービー

盛岡市動物公園ZOOMO（ズーモ）は、市街地に近接する丘陵地にある里山の動物公園です。アフリカゾウ、ピューマ、ニホンイヌワシからお好きな動物を選び、飼育員だからこそ撮影できる至近距離の迫力あるショートムービーをお届けします。



- 日本中の個人、企業、団体、自治体から集まった5274件の夢を山手線（1編成全11両）に4月1日から15日まで掲出。
- April Dreamに賛同する223のパートナーが参画、独自の取り組みで夢の発信を応援。日本全国に262箇所のDreamスポットが誕生。
- 日本全国の481の郵便局でDreamハガキキット5万枚を無料配布し、各地からポスト投函による夢の発信を可能にした。Dreamハガキに夢を書いて投函すると、居住地域のDreamスポットとApril Dream公式サイトに掲載される。



プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001510.000000112.html>
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001507.000000112.html>
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001500.000000112.html>

- マガジンハウスと共同編集でスペシャルBook「心を揺さぶるPR。powered by PR TIMES MAGAZINE」を製作し、マガジンハウスより2025年2月3日発売のカルチャー誌『BRUTUS』の「伝える力。」の付録小冊子として発行。
- 19の企業、自治体、官公庁で挑戦を続ける担当者たちの声を『BRUTUS』による編集で表現。
- 「心を揺さぶるPR。」のコンテンツは、『BRUTUS』公式WebサイトであるBRUTUS.jpに開設する特別サイトへ掲載。



2025年2月3日発売。
『BRUTUS』伝える力。より

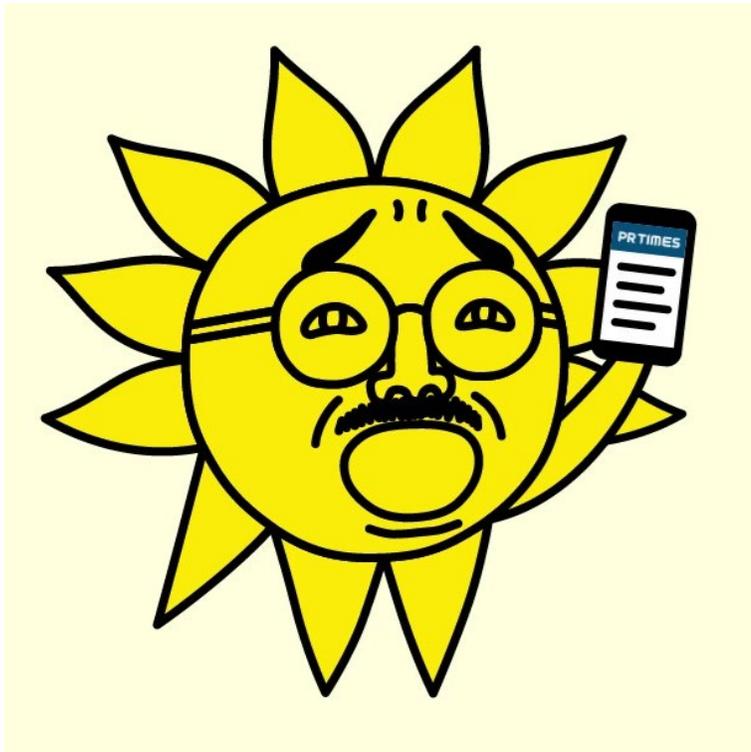


特別サイト https://brutus.jp/prtimes_casestudy/
 プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001499.000000112.html>

- 日本テレビ系日曜ドラマ「ホットスポット」の番組連動CMを1月12日から3月16日まで放送。
- コラボCMの設定は、ドラマ「ホットスポット」制作の裏側。宣伝担当がドラマのPRにプレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用することを提案。おかげで、ドラマのキャッチコピーである「地元系エイリアン・ヒューマン・コメディ」が世の中に拡散され話題になったが、「壮大なSFモノ？」と思わぬハードルまで上がってしまった…というストーリー。



- サンテレビが放送するプロ野球の試合をゲームセットまで完全中継するプロ野球中継番組「サンテレビボックス席」で、同局の人気キャラクター「おっ！サン」とのコラボCMを4月10日より展開。
- 放送中の試合でピッチャー交代のタイミング限定で流れる「目が離せ篇」に加え、第2弾の実施も予定。



1

2024年度通期 決算・サービス動向

2

2024年度第4四半期 四半期決算

3

2024年度第4四半期 サービス動向

4

トピックス & 参考情報

5

2025年度 業績予想

6

Road to Milestone2025, towards 2030

- 2025年度の営業利益を31億49百万円（前期比67.7%増）に上方修正。2024年度第3四半期の決算発表時点で公表した「営業利益30億円以上」を上回る見通し。
- PR TIMESはプレスリリース件数の10%超成長を堅持する。周辺領域ではPRパートナーサービスとWebクリッピングを再起動し、大企業顧客向けにおける1社あたりの売上高を伸ばしていく。
- JootoとTayoriはともに売上高を1.6倍に伸ばし、営業利益は黒字に転換。
- グルコースはグループ外への売上拡大を目指し、NAVICUSは5期ぶりの黒字回復を確実に実現する。

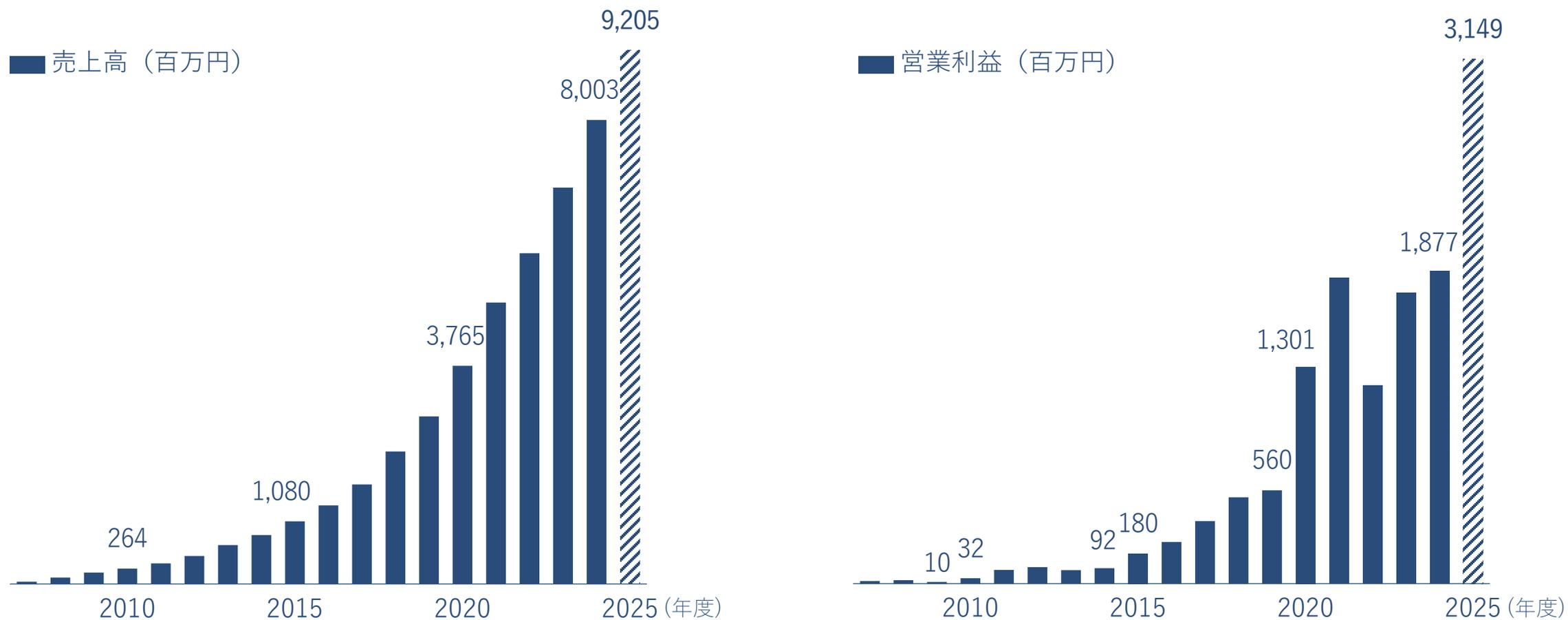
(単位：百万円)	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	前期実績比		予想レンジ
			金額	率	
売上高	8,003	9,205	1,201	115.0%	±5.0%
営業利益	1,877	3,149	1,271	167.7%	±15.0%
(営業利益率)	(23.5%)	(34.2%)	—	(10.7%)	—
EBITDA	2,174	3,442	1,268	158.3%	±15.0%
当期純利益	1,118	2,122	1,003	189.7%	±15.0%
年間配当金	10円30銭	13円20銭	2円90銭	128.2%	

注： EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 株式報酬費用

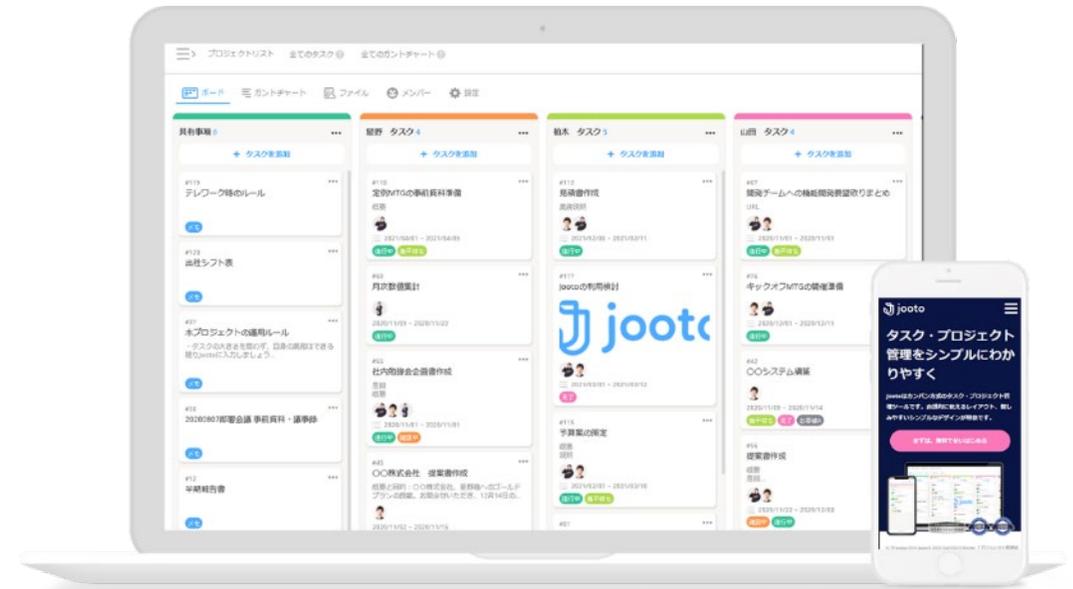
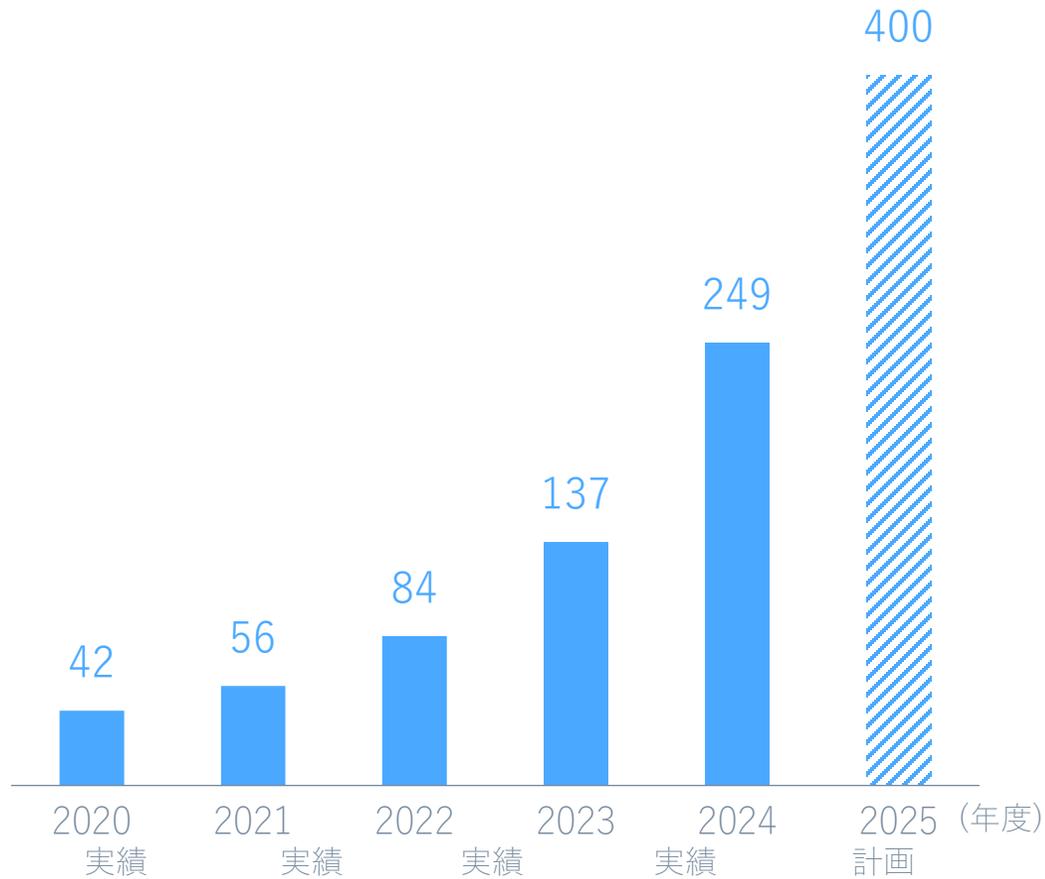
- 2025年度の営業利益に応じて、新株予約権に係る株式報酬費用が変動する。
- 業績予想として営業利益31億49百万円をベースに、株式報酬費用44,466千円を計上している。
- 35億円以上を目指す場合は、追加で25,505千円の株式報酬費用を吸収する必要がある。しかし、投資と利益とのバランスを見極めたうえで、現時点では営業利益31億49百万円を業績予想として決定した。

(単位：千円) 年度	2025年度営業利益 28億円超	2025年度営業利益 31億5千万円超	2025年度営業利益 35億円超
2024年度	72,300	—	—
2025年度	44,466	57,219	69,972
2026年度	22,131	27,058	31,986
2027年度	5,583	7,167	8,752
2028年度	40	47	54

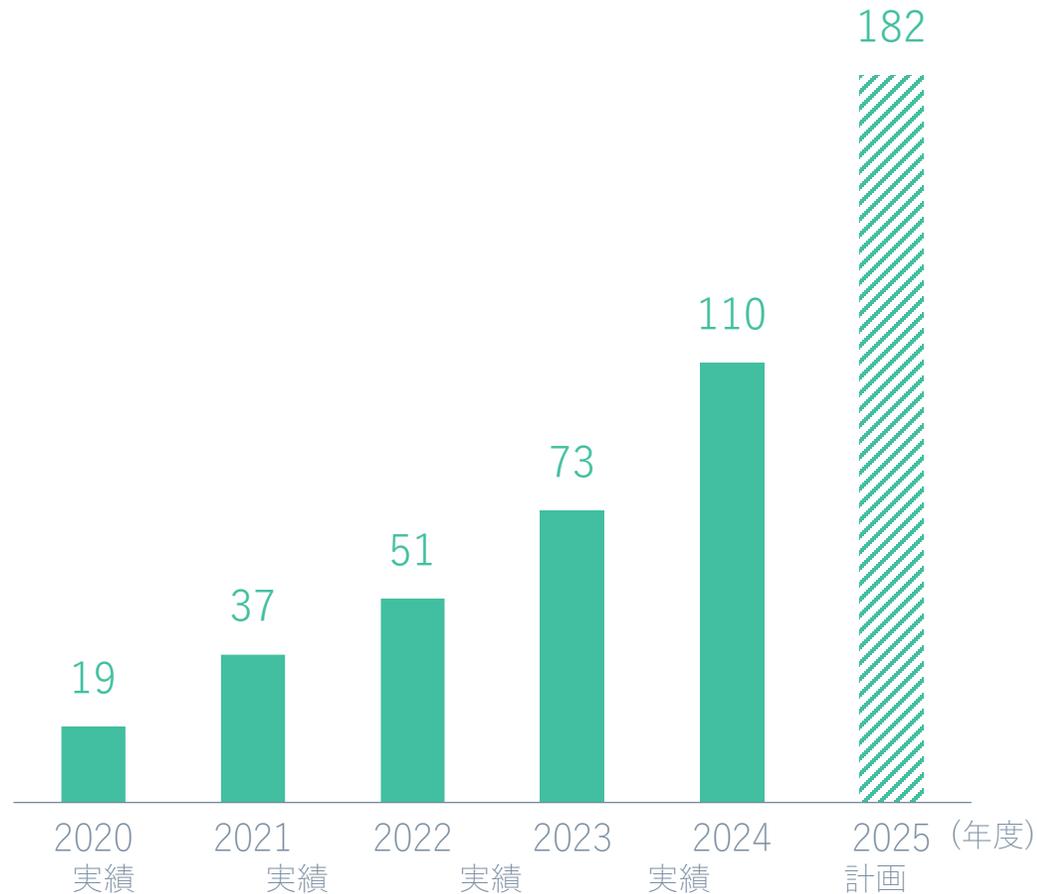
- 2025年度は、売上高の19期連続増収と営業利益の2期連続過去最高更新を目指すとともに、収益力をさらに一段高める重要な一年と位置づけている。
- 当社はこれまで、自らの収益力を武器に、単年度ベースで採算が合わない投資にも踏み込みながら中長期的な競争優位を築き、収益力を向上させ、さらに再投資へとつなげるサイクルを確立してきた。2025年度は、こうした投資サイクルのスピードと質をさらに高め、経営力を強化する絶好の機会と捉えている。



- 2024年度の売上高は2億49百万円（前期比1.8倍、計画比110.9%）。
- 2025年度の売上高は4億円（前期比1.6倍）、営業利益は31百万円（初黒字）を計画。
- 生成AIを活用した機能拡張と特定用途に特化したサービスラインナップの追加により、大企業を中心に利活用を促進。



- 2024年度の売上高は1億1千万円（前期比1.5倍、計画比84.4%）。
- 2025年度の売上高は1億82百万円（前期比1.6倍）、営業利益は1千万円（初黒字）を計画。
- 生成AI搭載や権限管理などプロダクト強化、サポート業務の伴走支援サービスを展開。



1

2022年度通期 決算、サービス動向

2

2024年度第4四半期 四半期決算

3

2024年度第4四半期 サービス動向

4

トピックス&参考情報

5

2025年度 業績予想

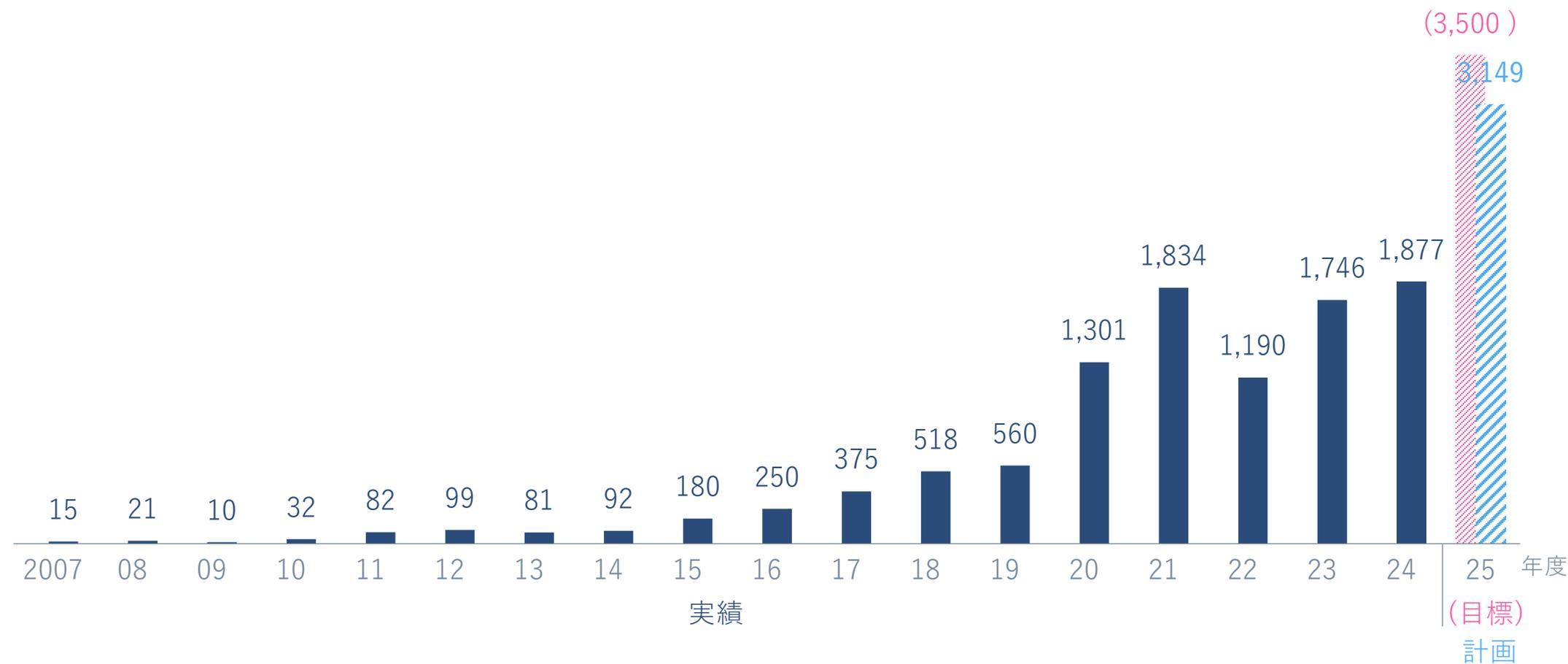
6

Road to Milestone2025, towards 2030

- Milestone 2025で掲げた営業利益35億円の達成を決して諦めることなく、グループ全体で邁進する。ただし、2025年度は通過点であり、最終ゴールではない。
- 「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」というミッションの実現に向けて、2030年度にはさらに野心的な目標を設定し、持続的な成長と収益拡大を図っていく。

営業利益の推移

単位：百万円



行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

インターネットが人の生活に入りこみ始めて四半世紀。

一人ひとりが情報を編集・発信できるようになった。

そして、テクノロジーによってかき集められた情報が無造作に拡散されることも増え続けている。

本当に必要な情報や本当に触れたい感情や想いに出会う確率は、
残念ながら、総じて減ってきている。

揺るぎない真実は、何を言ったかではなく、何をしたか。

その行動は嘘をつかない。

ゆえに、行動者の情報価値が高まっていくことに、インターネットやテクノロジーの力が発揮されることに意味がある。

頑張りに直結した情報が、最も確かで人の心を揺さぶる潮流を生みだす。

スポーツでも芸術でも、政治でも経済でも、そして、仕事でも家庭でも。

それが、大きいことでも、小さいことでも。

行動者発の情報の質と流通速度が上がっていくことで、それが世の中の情報のメインストリームになれる。

そこから生まれる物語が、想いが、

一人ひとりの、そして、世の中の心を揺さぶっていく。

ポジティブなエネルギーが循環していく。

そのプラットフォームになることが私たちの使命です。

本資料を公開するとともに説明会を開催しております。アナリストや機関投資家とは、必要に応じて個別面談に応じております。説明会や個別面談の質疑応答では、公表されていない重要な情報を伝達しないように遵守しています。重要な新情報は原則、PR TIMESで最初に公表しております。

本資料の端数処理につきましては、百万円単位未満の表示は切り捨て(但し小数点まで表示する場合は小数点第1位未満四捨五入)、%(パーセント)の表示は小数点第1位未満四捨五入を原則としております。

本資料に記載した意見や予測は、資料作成現時点における当社の見解であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承願います。